

1. 女性の就労について

(1) 「夫は働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への意見

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか (〇は1つ)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「賛成」を含む意見(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計)は49.7%、「反対」を含む意見(「反対」と「どちらかといえば反対」の合計)は49.1%で、「賛成」を含む意見と「反対」を含む意見はほぼ同数である。

【性別】

「賛成」を含む意見を持つ人は女性では48.2%であるが、男性では51.8%と3.6ポイント多い。

【性・年代別】

女性は20歳代～50歳代では年代が上がるにつれ「賛成」を含む意見が増えるが、60歳代では「反対」を含む意見の方が54.1%と多い。一方、男性は20歳代では「反対」を含む意見が53.2%と多いが、30歳代では「賛成」を含む意見の方が55.3%と多く、30歳代～60歳代では年齢が上がるにつれ「反対」を含む意見が増える。

【全国比較】

男女とも、全国に比べて「賛成」を含む意見を持つ人が多い。

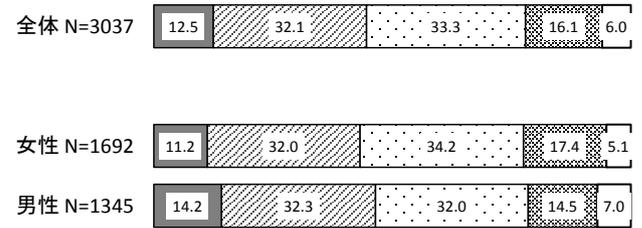
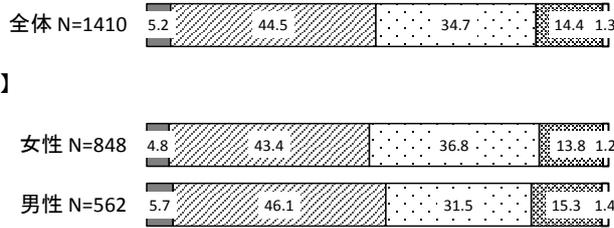
性・年代別に比較すると、女性は、50歳代で「賛成」を含む意見が50.7%と最も多いが、全国では逆に50歳代で「賛成」を含む意見が36.7%と最も少なく、14.0ポイントの差がある。一方、男性は、40歳代、50歳代で差が大きく、全国に比べ「賛成」を含む意見が約13ポイント多い。

■賛成 □どちらかといえば賛成 □どちらかといえば反対 □反対 □不明・無回答(全国は「わからない」)

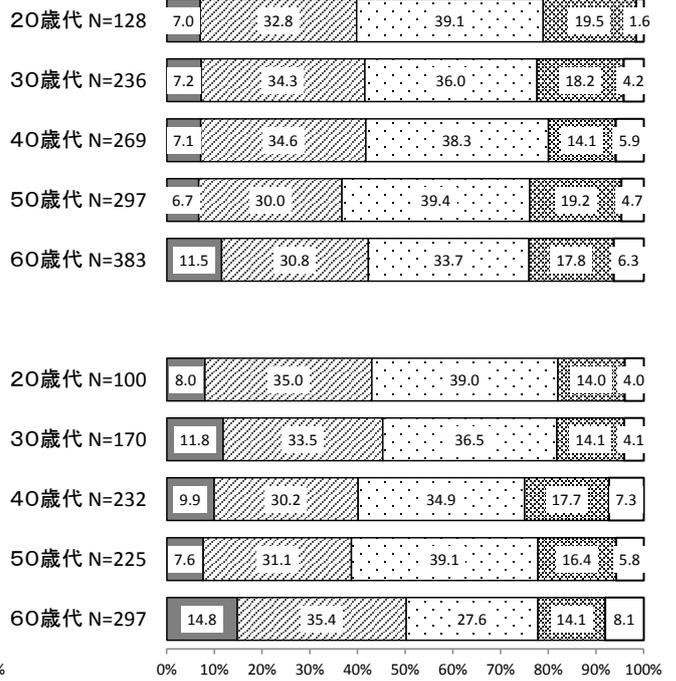
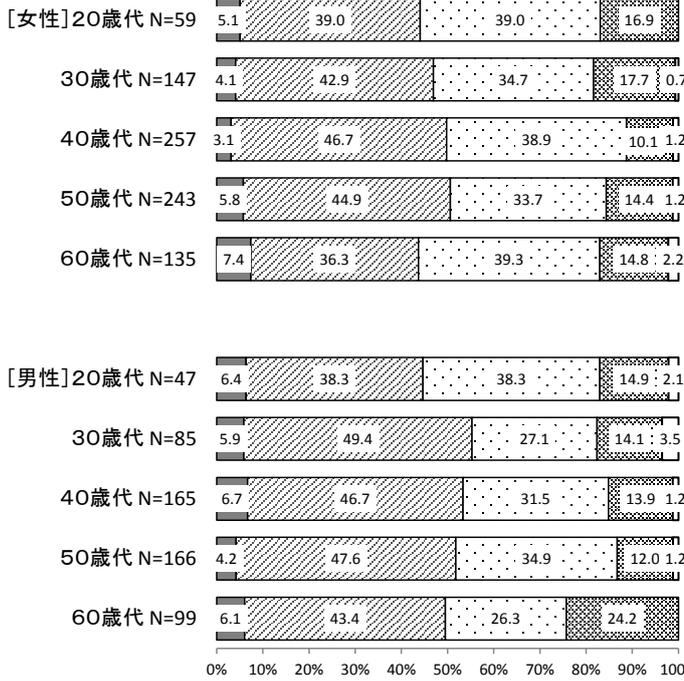
[今回]

[全国：平成26年度 女性の活躍推進に関する世論調査]

【性別】



【性・年代別】



(2) 女性の生き方

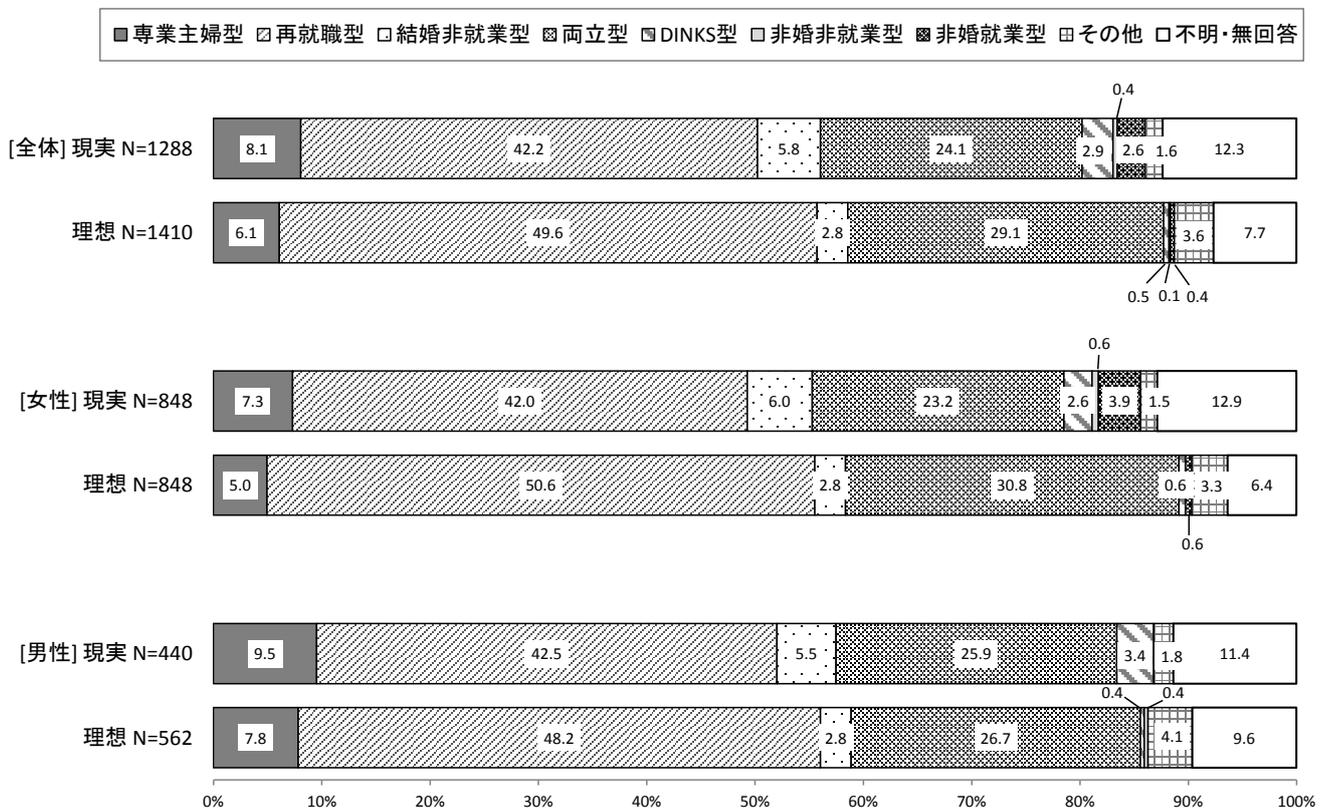
問 8 女性の生き方について、女性の方はあなた自身について、男性の方は配偶者について
下記 1～9 の番号から一つ選んで記入して下さい

- ① 現在及び今後見込まれると思われる生き方は、どれに近いですか
(女性の方、配偶者がいる男性のみ)
- ② 最も望ましいと思われる女性の生き方は、どれに近いですか

女性の生き方の現実（現在及び今後見込まれると思われる生き方）と理想（最も望ましいと思われる生き方）について、現実、理想ともに「再就職型」（結婚し子どもを持ち一旦退職、子育て後再び仕事を持つ）が最も多く、次いで「両立型」（結婚し子どもを持つが、仕事を続ける）が多くなっている。それぞれ、理想に比べ現実には「再就職型」で 7.4 ポイント、「両立型」で 5.0 ポイント少ない。

【性別】

男女とも、現実、理想ともに「再就職型」が最も多く、次いで「両立型」となっている。女性は、男性よりも「再就職型」と「両立型」を理想とする人の割合が高い。



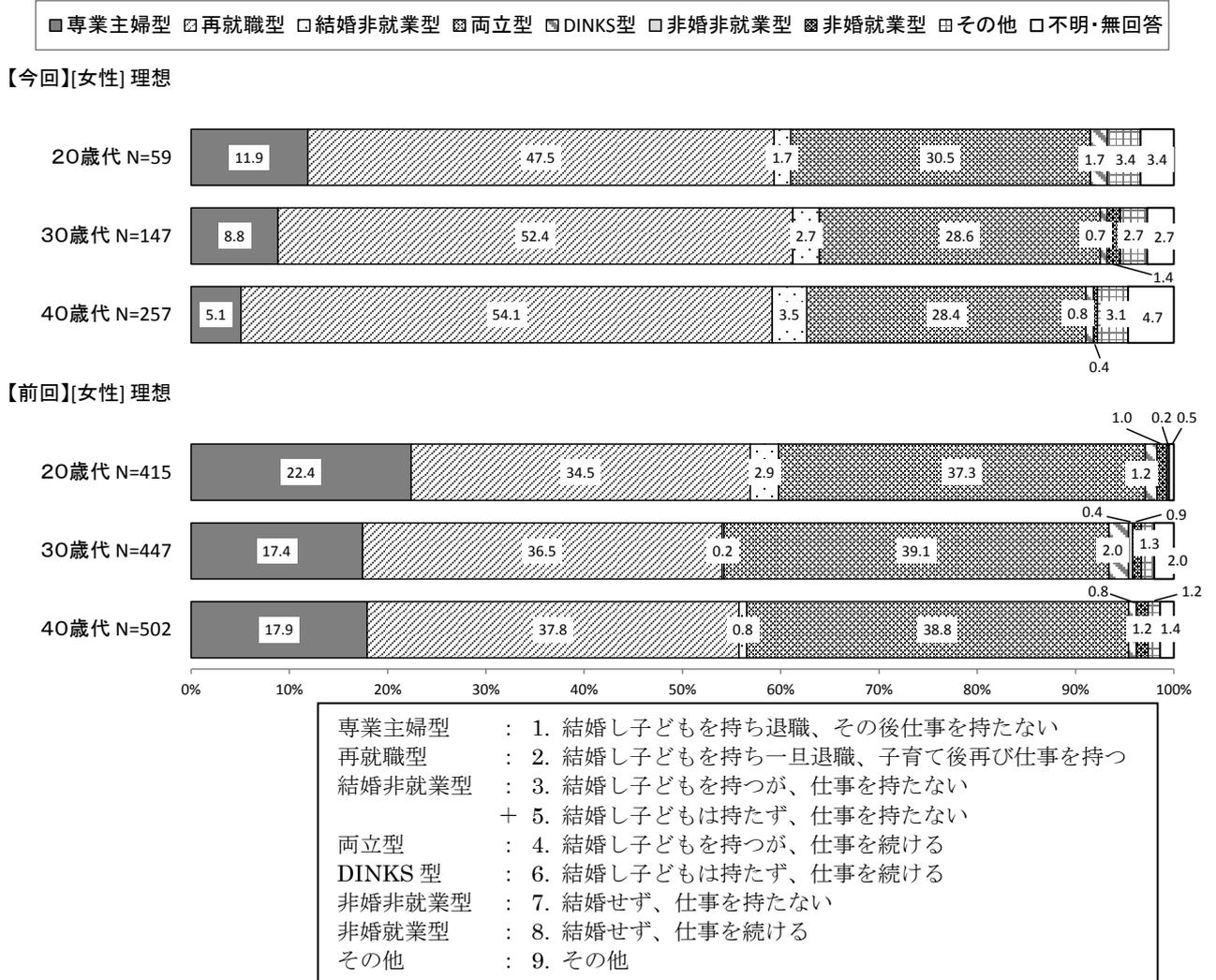
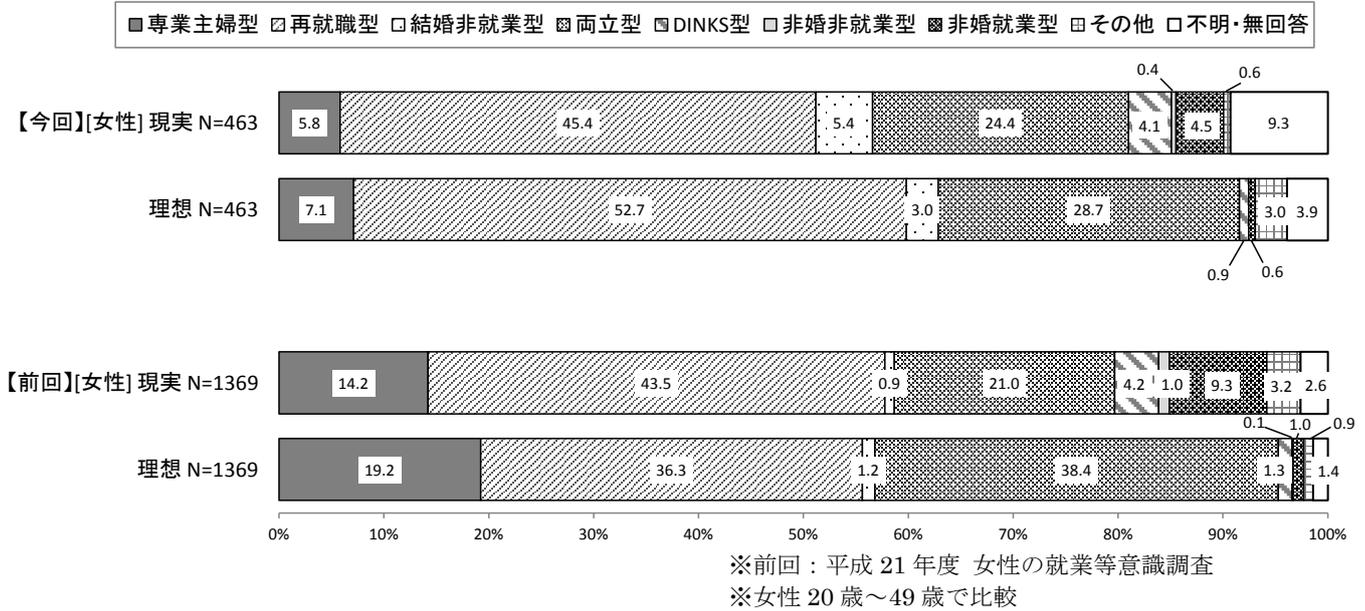
- | | |
|--------|--------------------------------|
| 専業主婦型 | : 1. 結婚し子どもを持ち退職、その後仕事を持たない |
| 再就職型 | : 2. 結婚し子どもを持ち一旦退職、子育て後再び仕事を持つ |
| 結婚非就業型 | : 3. 結婚し子どもを持つが、仕事を持たない |
| 両立型 | : 4. 結婚し子どもを持つが、仕事を続ける |
| DINKS型 | : 6. 結婚し子どもは持たず、仕事を続ける |
| 非婚非就業型 | : 7. 結婚せず、仕事を持たない |
| 非婚就業型 | : 8. 結婚せず、仕事を続ける |
| その他 | : 9. その他 |

【前回比較】

20歳代～40歳代の女性について前回調査（奈良県による平成21年度女性の就業等意識調査）と比べると、現実には「専業主婦型」（結婚し子どもを持ち退職、その後仕事を持たない）が減少し、「再就職型」「両立型」がともに増加し、仕事をする女性が増加した。

理想で最も多いのは前回「両立型」であったが、今回は「再就職型」と順位が入れ替わり、半数以上が「再就職型」を選択している。

理想で前回より「専業主婦型」が減少しているが、年代別では前回と同様、20歳代で「専業主婦型」が多い。



(3) 両親の意識

問9 あなたは小さい頃（おおむね小学生の頃）、仕事や家事、子育てに関するあなたの親の意識についてどのように感じていましたか 以下、「A、B」のうち、あなたの感じ方に近いと思うものをお答えください（○はそれぞれ1つずつ）

【A】「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」

【B】「結婚したら女性は家事・子育てに専念すべきだ」

回答者が小さい頃の親の意識について、母親、父親とも、『結婚・出産後も女性は仕事を続けるべき』（※1）と考えていたと感じる人よりも、『結婚後女性は家事・子育てに専念すべき』（※2）と考えていたと感じる人の方が多い。また、『結婚後女性は家事・子育てに専念すべき』と考えていたと感じる人は、母親は50.7%であるが、父親は58.8%と8.1ポイント多い。

（※1）「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」に「近い」と「どちらかというに近い」の合計

（※2）「結婚したら女性は家事・子育てに専念すべきだ」に「近い」と「どちらかというに近い」の合計

【性別】

「父親が『結婚・出産後も女性は仕事を続けるべき』と考えていた」と感じる人は女性では31.6%と男性に比べて、7.0ポイント少ない。

【性・年代別】

「母親が『結婚・出産後も女性は仕事を続けるべき』と考えていた」と感じる人が、20歳代女性のみ54.2%と過半数を超えており、男性では20歳代と40歳代が多い。一方、60歳代女性と30歳代男性は母親、父親ともに『結婚・出産後も女性は仕事を続けるべき』と考えていた」と感じる人が少ない。

《母親の意識》

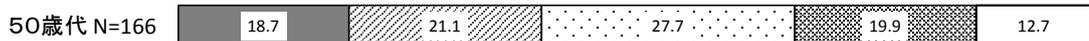
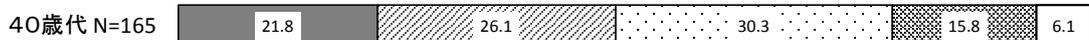
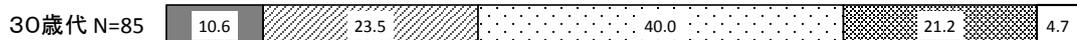
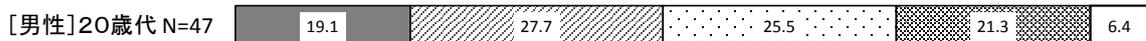
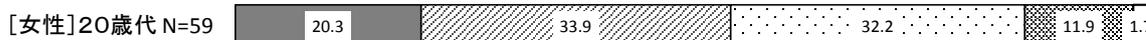
■ Aに近い □ どちらかというAに近い □ どちらかというBに近い ■ Bに近い □ 不明・無回答



【性別】



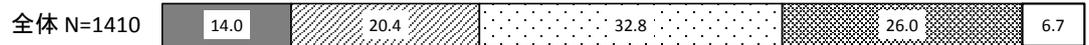
【性・年代別】



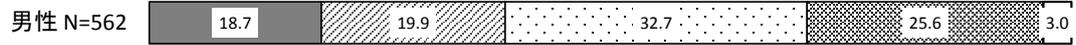
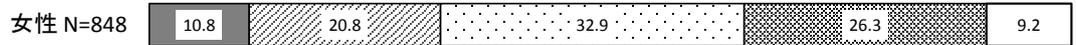
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《父親の意識》

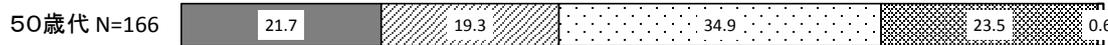
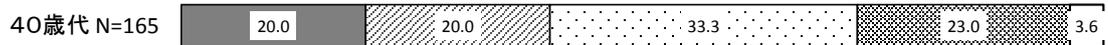
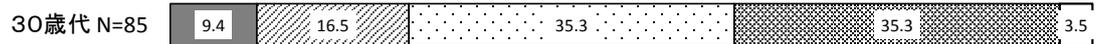
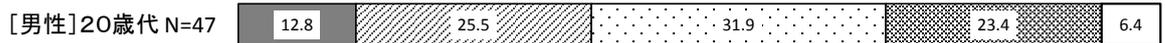
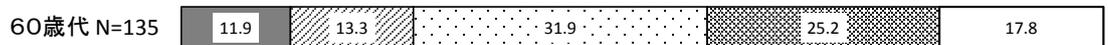
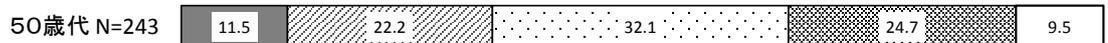
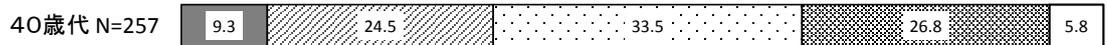
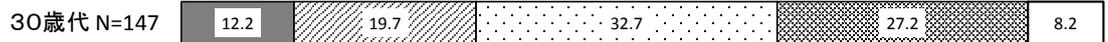
■ Aに近い ▨ どちらかというAに近い □ どちらかというBに近い ▩ Bに近い □ 不明・無回答



【性別】



【性・年代別】



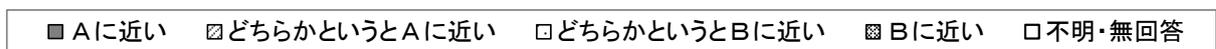
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【A】「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」
【B】「結婚したら女性は家事・子育てに専念すべきだ」

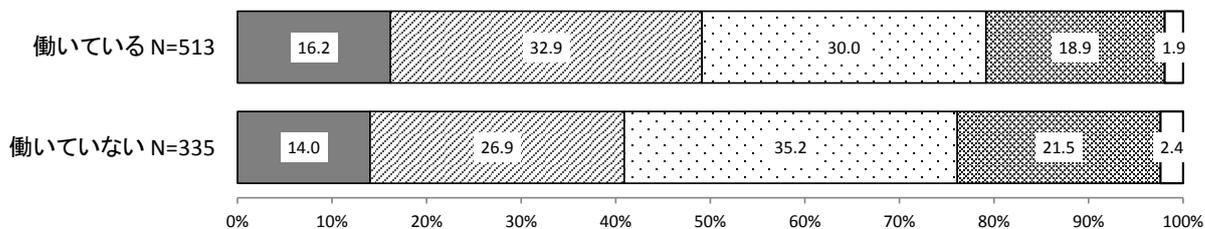
【女性の就労の有無別】

働いている女性は働いていない女性に比べて母親、父親ともに『結婚・出産後も女性は仕事を続けるべき』と考えていた」と感じる人が多い。

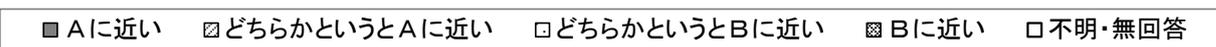
《母親の意識》



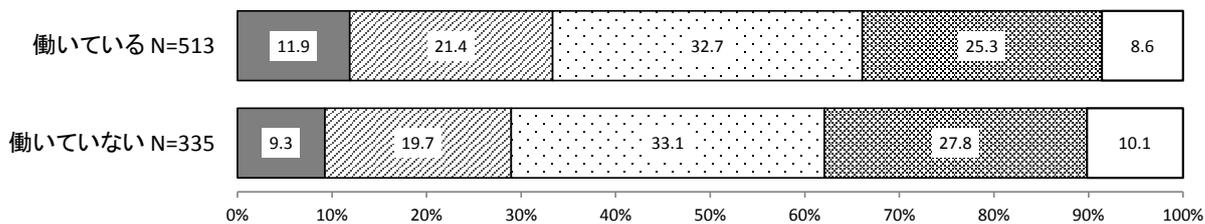
[女性]【就労の有無別】



《父親の意識》



[女性]【就労の有無別】



【A】「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」
 【B】「結婚したら女性は家事・子育てに専念すべきだ」

(4) 就労の有無

問 10-1 あなたは、現在働いていますか また、配偶者がおられる場合、配偶者は働いていますか
 (○はそれぞれ1つずつ)
 働いていない →以前はいかがでしたか

《回答者》

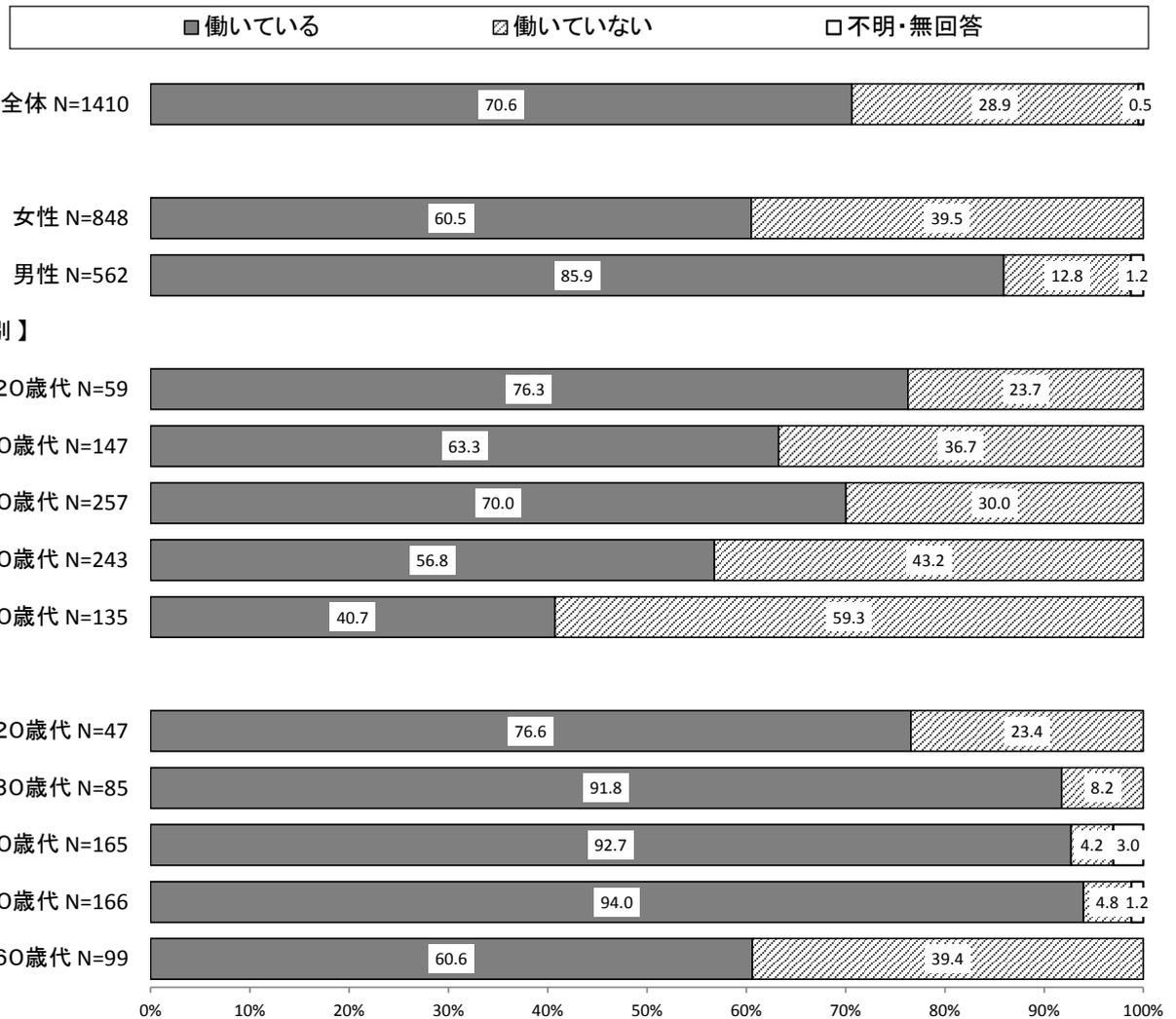
回答者の就業率は70.6%である。

【性別】

就業率は女性60.5%、男性85.9%であり、女性は男性に比べて25.4ポイント低い。

【性・年代別】

就業率は20歳代では8割弱と男女による差はない。女性では30歳代で下がり40歳代で少し戻すが50歳代以上で再度下がる。男性では30歳代から50歳代で9割以上であり、50歳代が94.0%と最も高い。



【女性の子どもの有無別・末子年齢別】

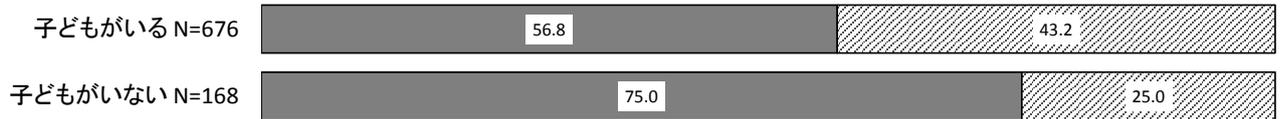
子どもがいる女性は子どもがいない女性に比べて就業率が 18.2 ポイント低い。

末子年齢別に比較すると、特に 3 歳未満の末子がいる女性の就業率は 46.3%と低い。末子年齢が 3 歳以上就学前で就業率は 61.4%に上がるが、小学生で少し下がる。中学生、高校生では上がり、高校生の末子がいる女性の就業率は 73.3%である。

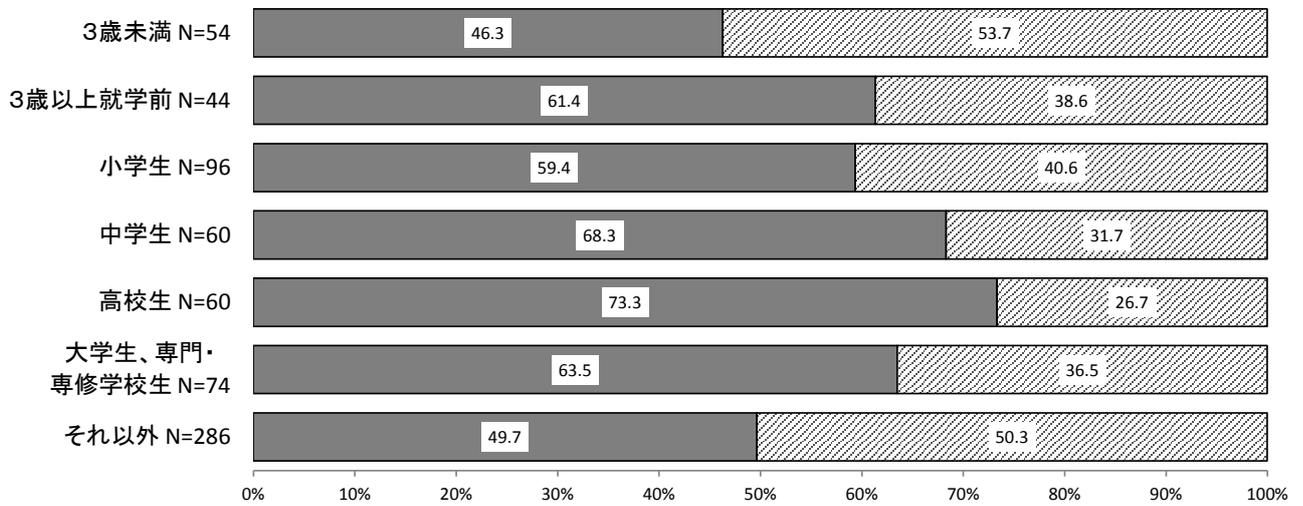


[女性]

【子どもの有無別】



【末子年齢別】



《回答者・現在働いていない人の就労経験》

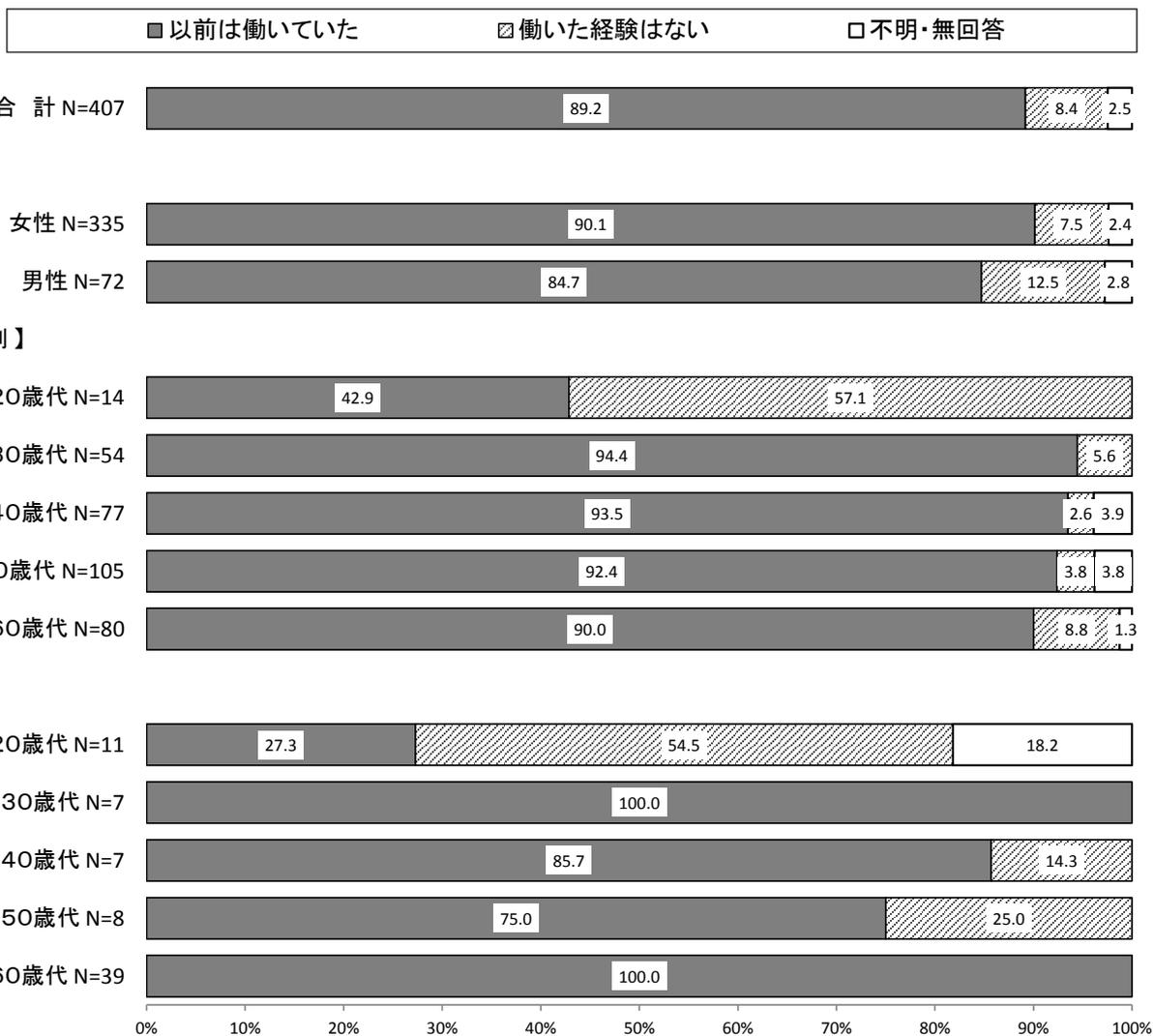
回答者のうち現在働いていない人の就労経験は、「以前は働いていた」が 89.2%、「働いた経験はない」が 8.4%である。

【性別】

「以前は働いていた」女性は 90.1%、男性は 84.7%である。

【性・年代別】

男女とも 20 歳代では「働いた経験はない」が過半数を占める。

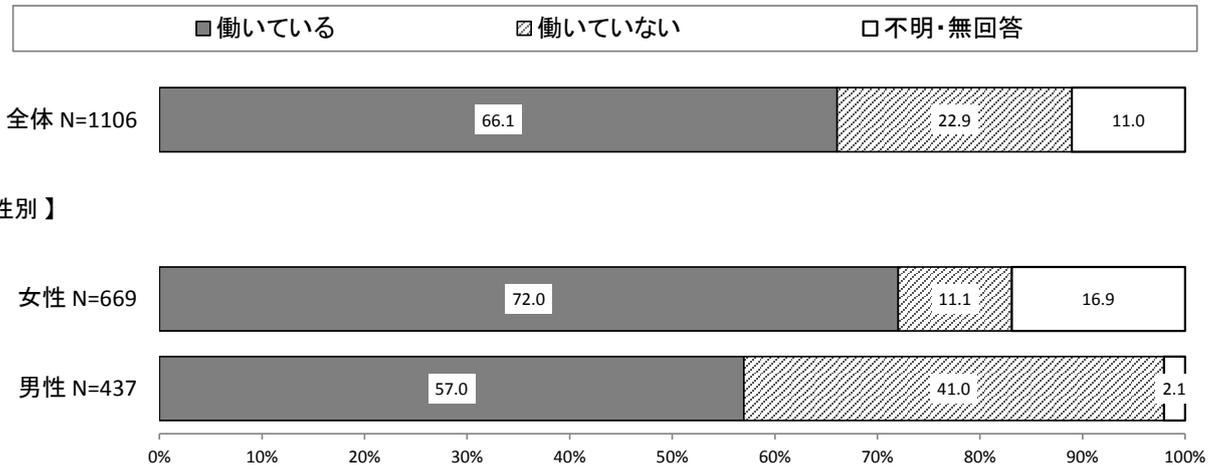


《配偶者》

配偶者の就業率は 66.1%である。

【性別】

女性の配偶者（男性）の就業率は 72.0%、男性の配偶者（女性）の就業率は 57.0%である。

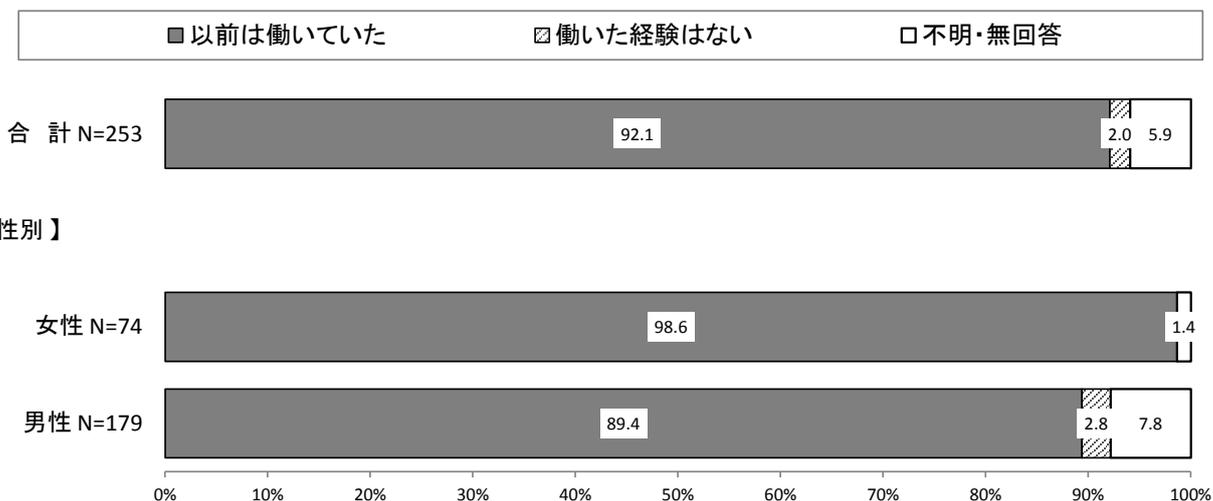


《配偶者・現在働いていない人の就労経験》

配偶者のうち現在働いていない人の就労経験は「以前は働いていた」が92.1%、「働いた経験はない」が2.0%である。

【性別】

「以前は働いていた」女性の配偶者（男性）は98.6%、男性の配偶者（女性）は89.4%である。



(5) 就業形態

問 10-2 あなたと配偶者の就業形態は次のうちどれにあてはまりますか
(問 10-1 で「働いている」と回答した者のみ) (○はそれぞれいくつでも)

《回答者》

回答者の就業形態は「正規の職員・従業員」が 46.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 27.0%、「自営業主」が 8.4%となっている。

【性別】

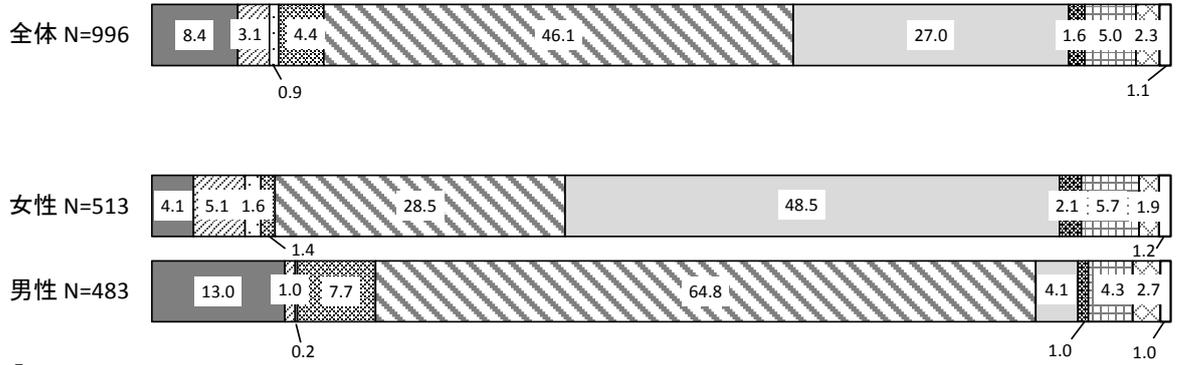
女性は「パート・アルバイト」が 48.5%と最も多く、男性に比べて 44.4 ポイント多い。次いで「正規の職員・従業員」が 28.5%と男性に比べて 36.3 ポイント少ない。男性では「正規の職員・従業員」が 64.8%を占める。

【性・年代別】

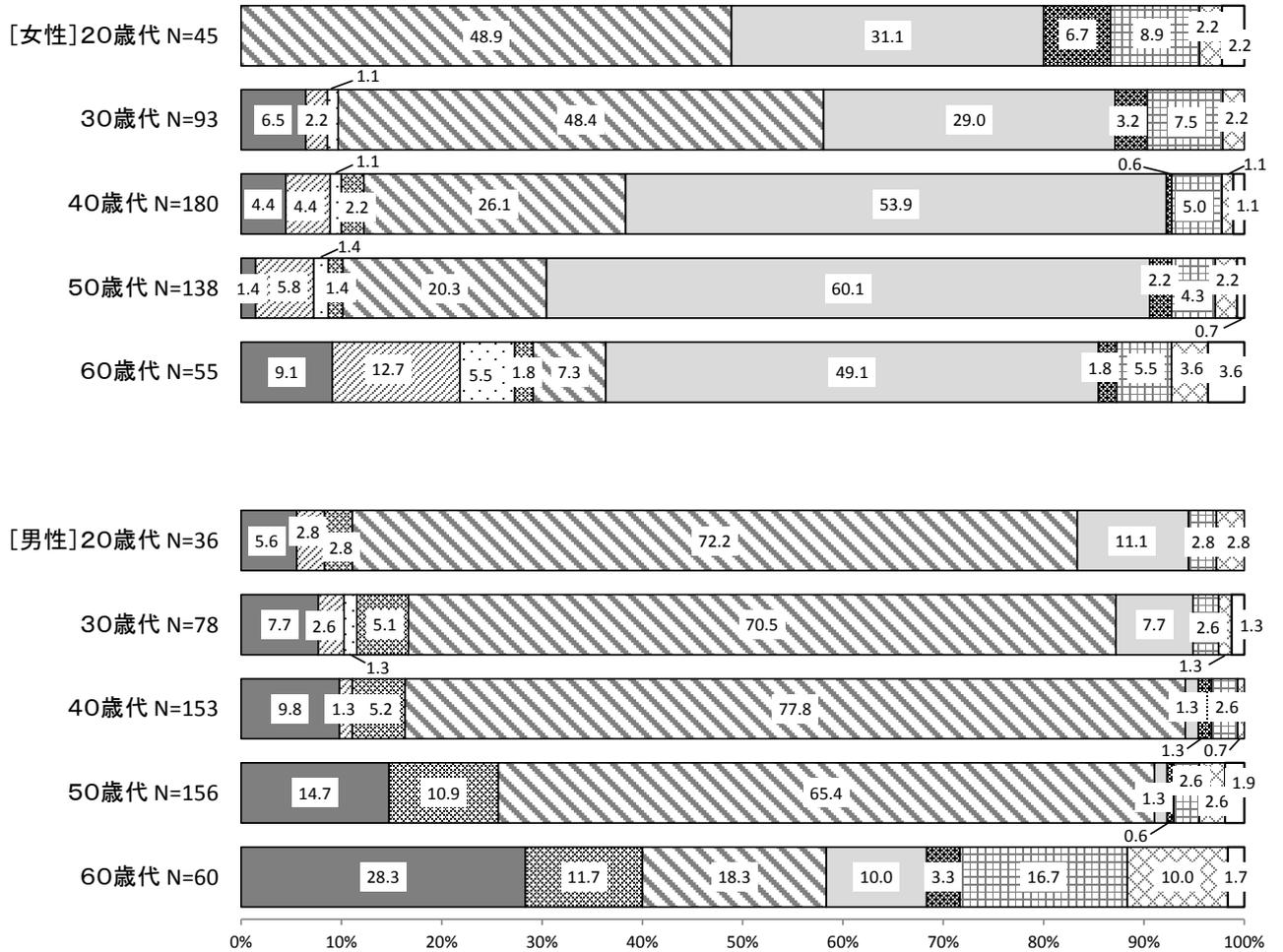
男性は 20 歳代から 50 歳代まで「正規の職員・従業員」の割合が約 7 割を占める。女性は「正規の職員・従業員」の割合が、年代が上がるにつれ大きく減る。40 歳代で「パート・アルバイト」の割合が 53.9%となり、「正規の職員・従業員」の割合 (26.1%) を逆転し、60 歳代まで逆転は続く。

■ 自営業主 □ 家族従業者 □ 内職 □ 会社などの役員 □ 正規の職員・従業員 □ パート・アルバイト □ 派遣社員 □ 契約社員・嘱託 □ その他 □ 不明・無回答

【性別】



【性・年代別】



【女性の子どもの有無別、末子年齢別】

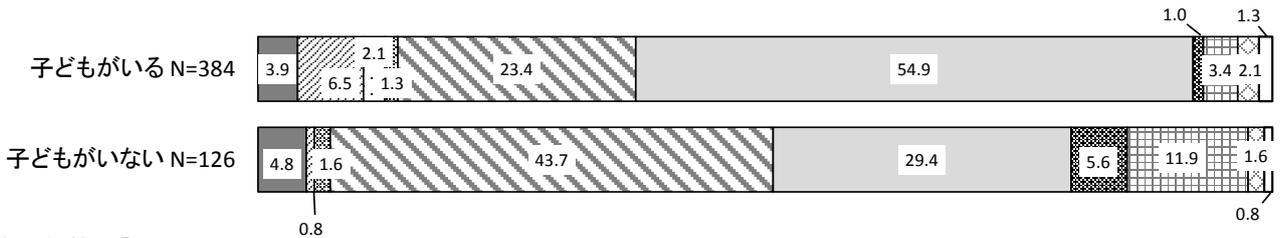
子どもがいない女性は「パート・アルバイト」(29.4%)より「正規の職員・従業員」(43.7%)が多いが、子どもがいる女性は「パート・アルバイト」が54.9%と半数を超える。

末子年齢別に比較すると、3歳未満の末子がいる女性は「正規の職員・従業員」が84.0%と多いが、3歳以上の末子がいる女性は「パート・アルバイト」の方が多。

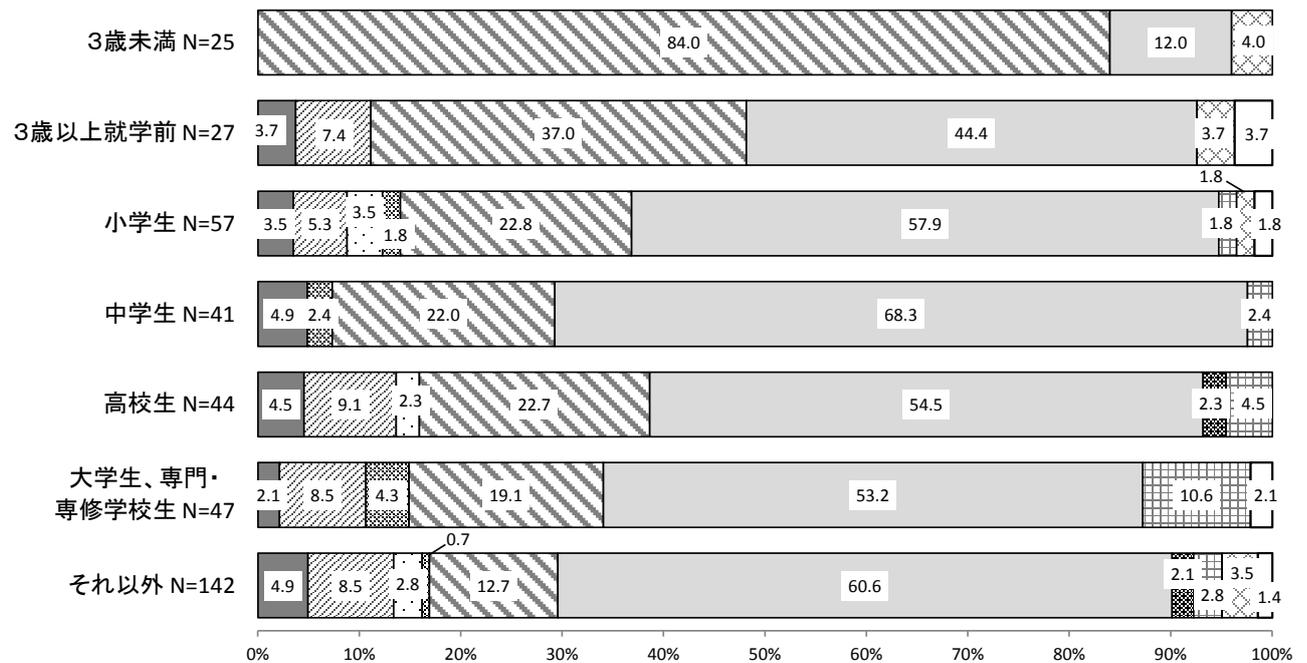
■自営業主 □家族従業者 □内職 □会社などの役員 □正規の職員・従業員 □パート・アルバイト □派遣社員 □契約社員・嘱託 □その他 □不明・無回答

[女性]

【子どもの有無別】



【末子年齢別】



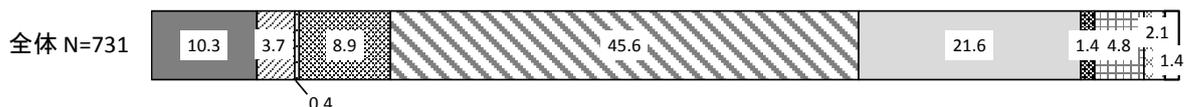
《配偶者》

配偶者の就業形態は「正規の職員・従業員」が45.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が21.6%、「自営業主」が10.3%となっている。

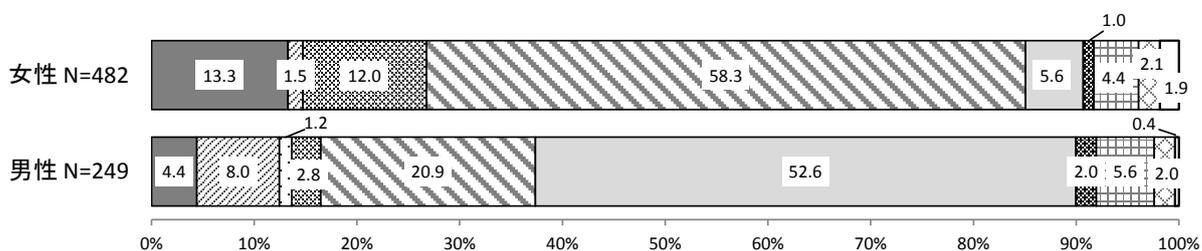
【性別】

女性の配偶者（男性）は「正規の職員・従業員」が58.3%、男性の配偶者（女性）は「パート・アルバイト」が52.6%と多い。

■自営業主 □家族従業者 □内職 □会社などの役員 □正規の職員・従業員 □パート・アルバイト □派遣社員 □契約社員・嘱託 □その他 □不明・無回答



【性別】



(6) 職場や環境の現状

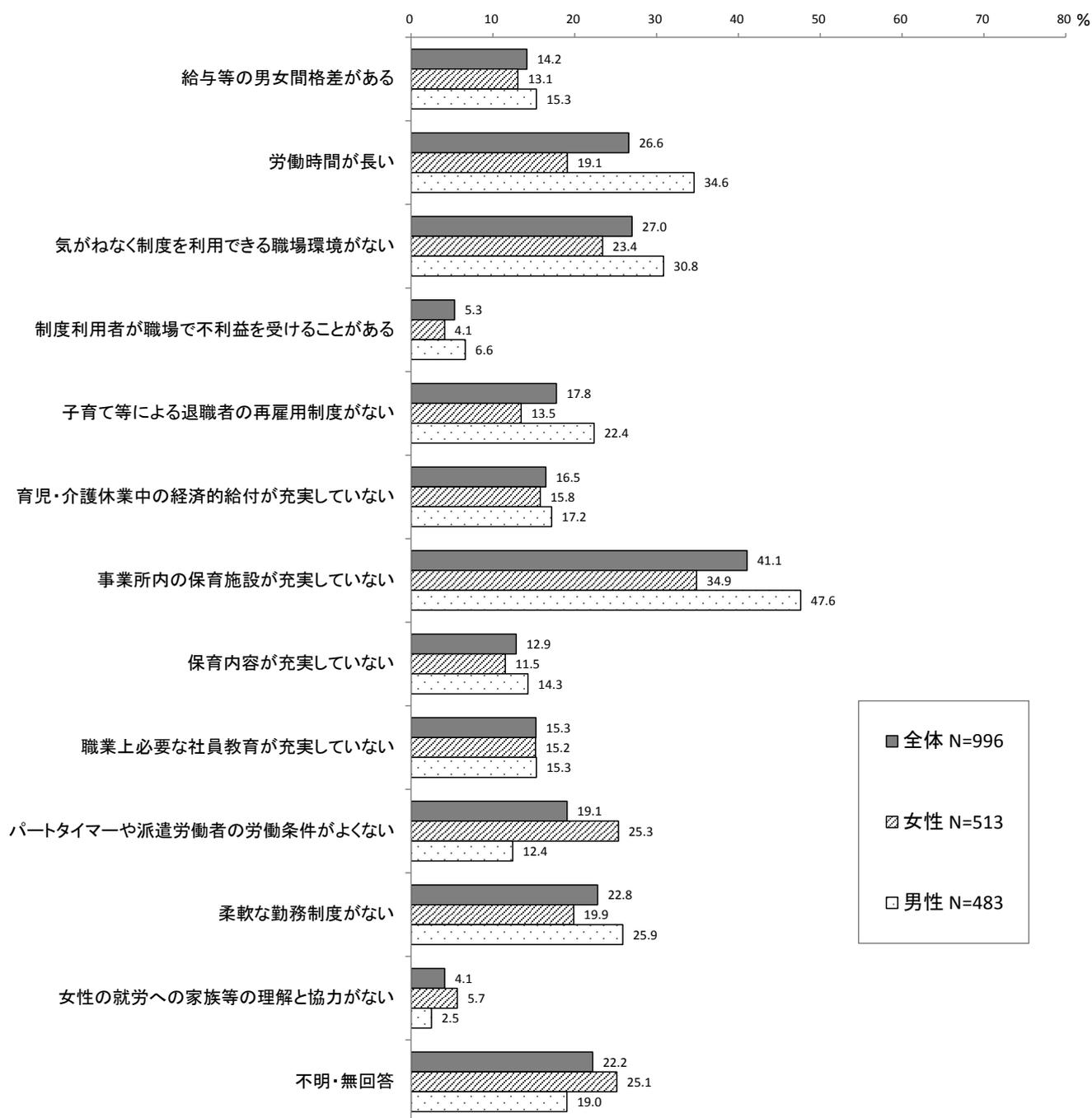
問 11 あなたの職場や環境で、次の項目にあてはまるものはありますか
(問 10-1 で「働いている」と回答した者のみ)

(○はいくつでも)

就労している方の職場や環境であてはまるものとしては「事業所内の保育施設が充実していない」が41.1%と最も多く、次いで「気がねなく制度を利用できる職場環境がない」が27.0%、「労働時間が長い」が26.6%となっている。

【性別】

男女ともに「事業所内の保育施設が充実していない」が最も多く、次いで女性では「パートタイマーや派遣労働者の労働条件がよくない」、男性では「労働時間が長い」となり、男女で異なっている。



(7) 年次有給休暇の取得状況

問 12-1 過去1年間の年次有給休暇の取得状況はどうか

(問 10-1 で「働いている」と回答した者のみ)

(○は1つ)

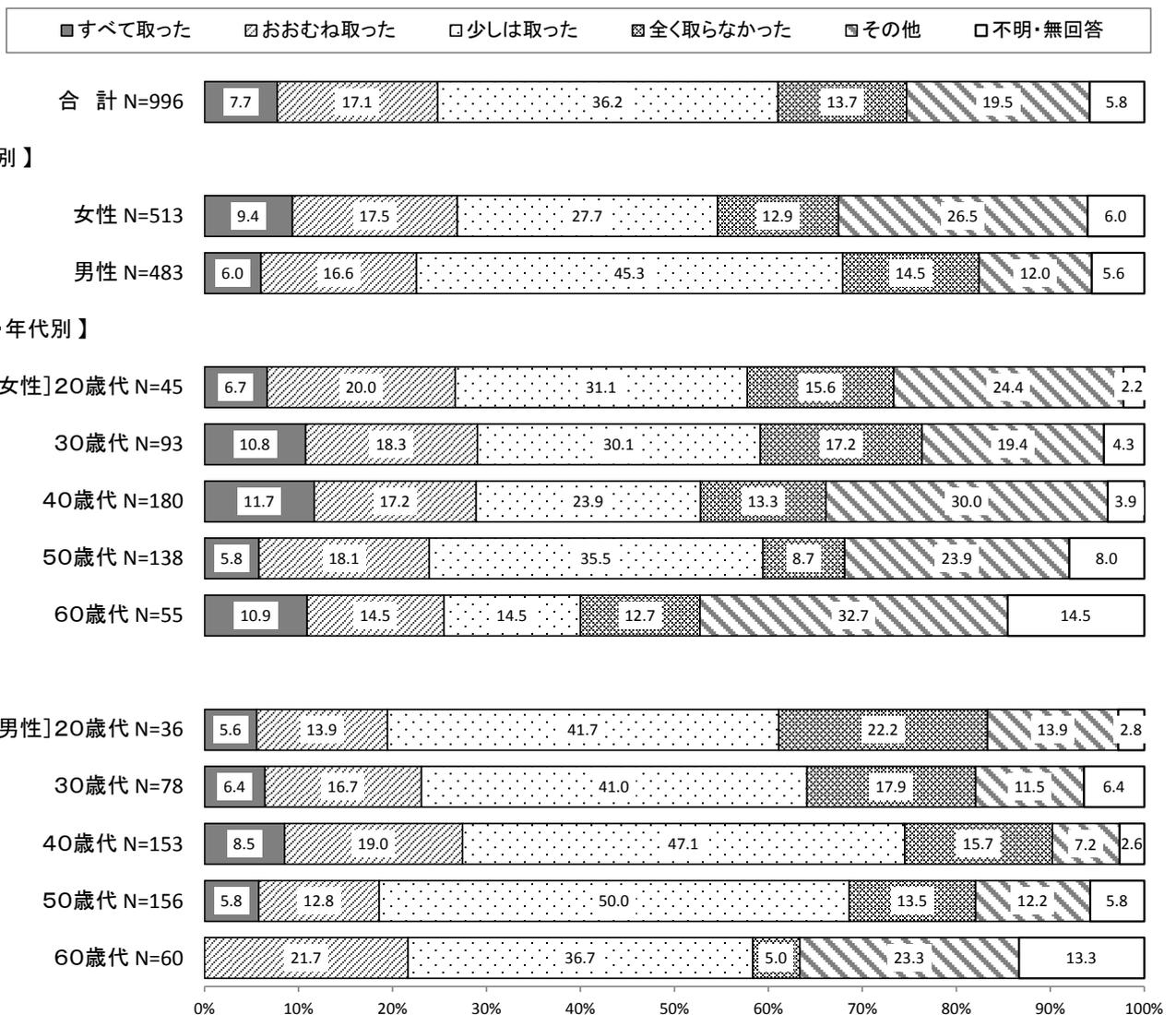
就労している方の過去1年間の年次有給休暇の取得状況は「少しは取った」が36.2%と最も多く、次いで「おおむね取った」が17.1%、「全く取らなかった」が13.7%、「すべて取った」が7.7%となっている。

【性別】

年次有給休暇を「すべて取った」と「おおむね取った」を合わせて女性は26.9%と、男性(22.6%)に比べて4.3ポイント多く、また、「全く取らなかった」が女性は12.9%と男性(14.5%)に比べてやや少ないため、男性の方が女性に比べて年次有給休暇の取得が少ないと言える。

【性・年代別】

20歳代の男性は「全く取らなかった」が22.2%と年代別で一番多く、さらに「すべて取った」と「おおむね取った」を合わせて19.5%と少なく、年次有給休暇の取得状況が良くない。



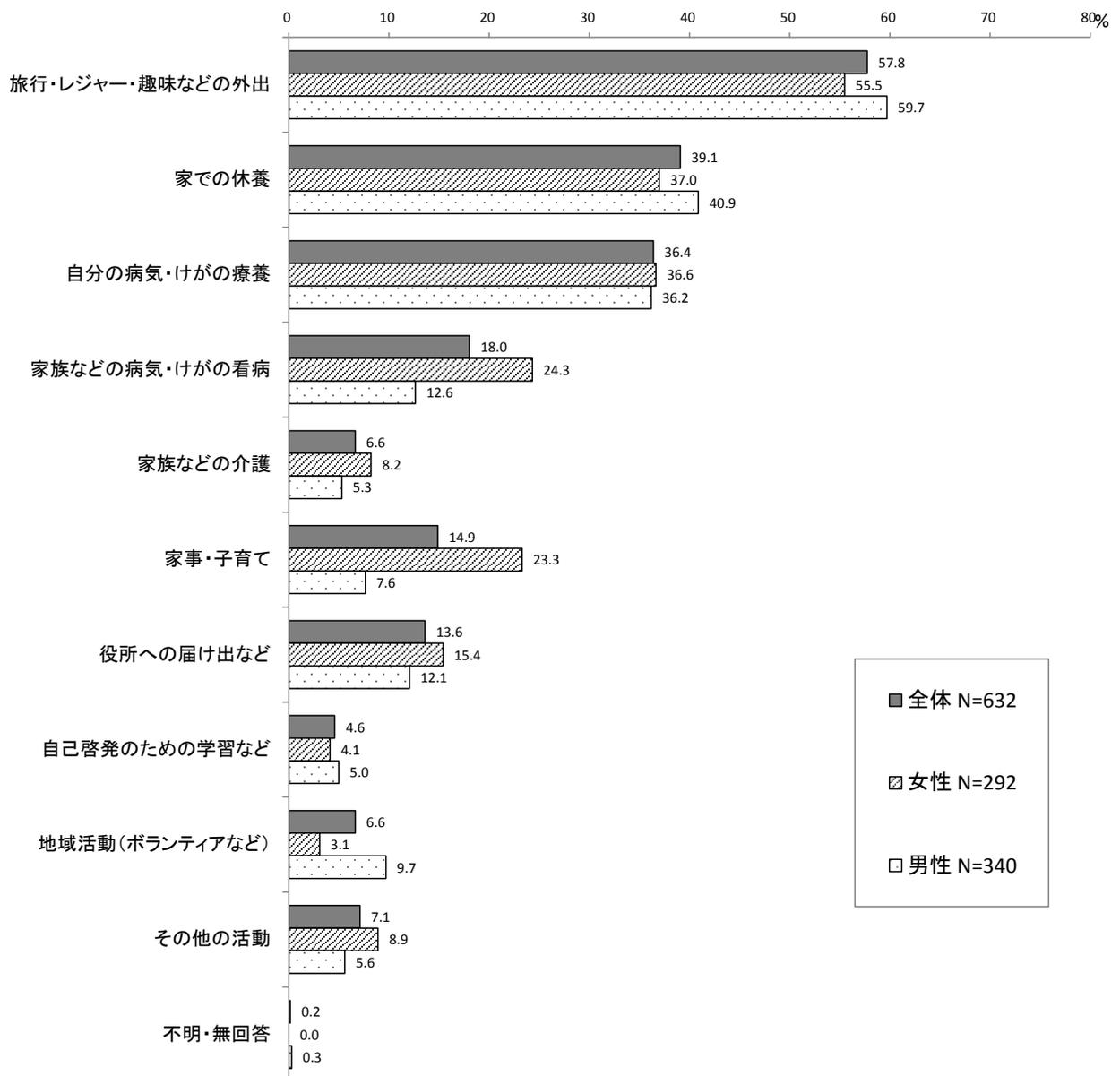
(8) 年次有給休暇の用途

問 12-2 取得した年次有給休暇について、どのような用途で使いましたか（〇はいくつでも）

取得した年次有給休暇の用途は「旅行・レジャー・趣味などの外出」が 57.8%と最も多く、次いで「家での休養」が 39.1%、「自分の病気・けがの療養」が 36.4%となっている。

【性別】

男女ともに上位 3 項目は同じである。それ以外の項目のうち、女性は男性に比べて「家事・子育て」「家族などの病気・けがの看病」のための年休取得がそれぞれ 15.7 ポイント、11.7 ポイント多い。



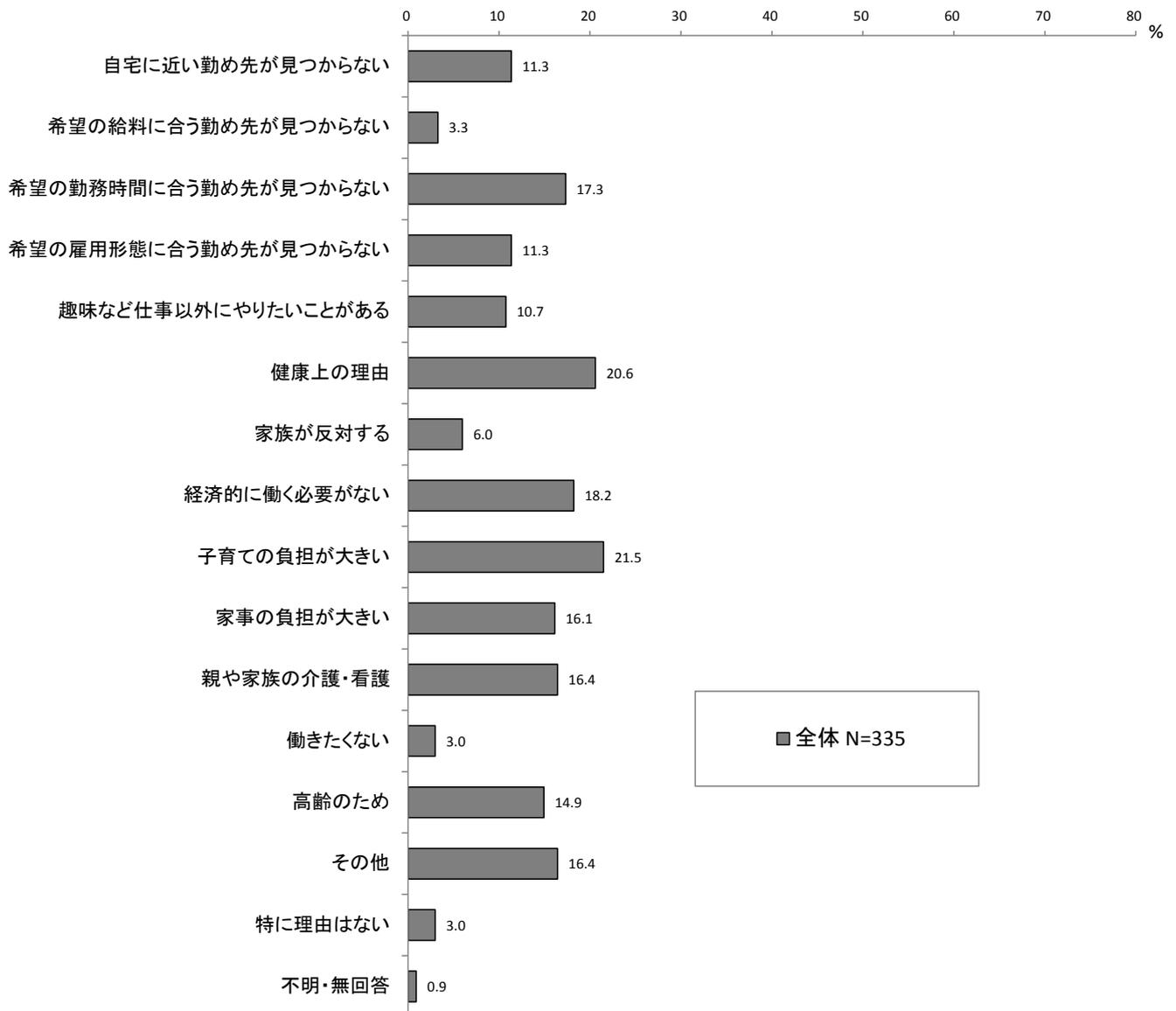
(9) 女性が現在働いていない理由

問 13 あなたが、現在働いていないのは、主にどのような理由からですか
 (問 10-1 で「働いていない」と回答した女性のみ)

(○は3つまで)

女性が働いていない主な理由は「子育ての負担が大きい」が 21.5%と最も多く、次いで「健康上の理由」が 20.6%、「経済的に働く必要がない」が 18.2%となっている。

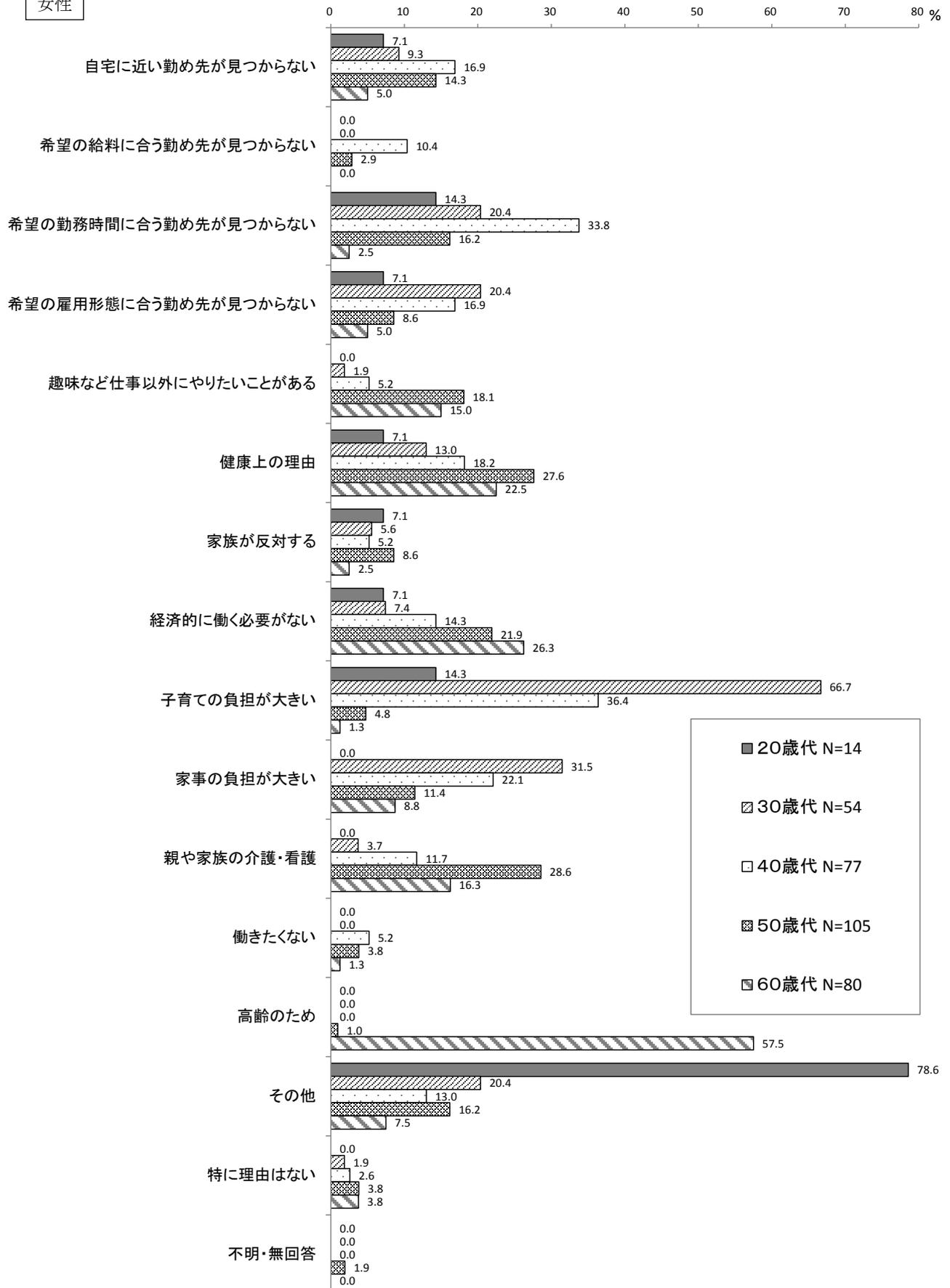
女性



【年代別】

年代別に比較すると、30歳代の女性では、「子育ての負担が大きい」、「家事の負担が大きい」が多い、40歳代の女性では、「子育ての負担が大きい」、「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」が多い。年代が上がるにつれ、「健康上の理由」、「親や家族の介護・看護」や「経済的に働く必要がない」、「趣味など仕事以外にやりたいことがある」が増える。

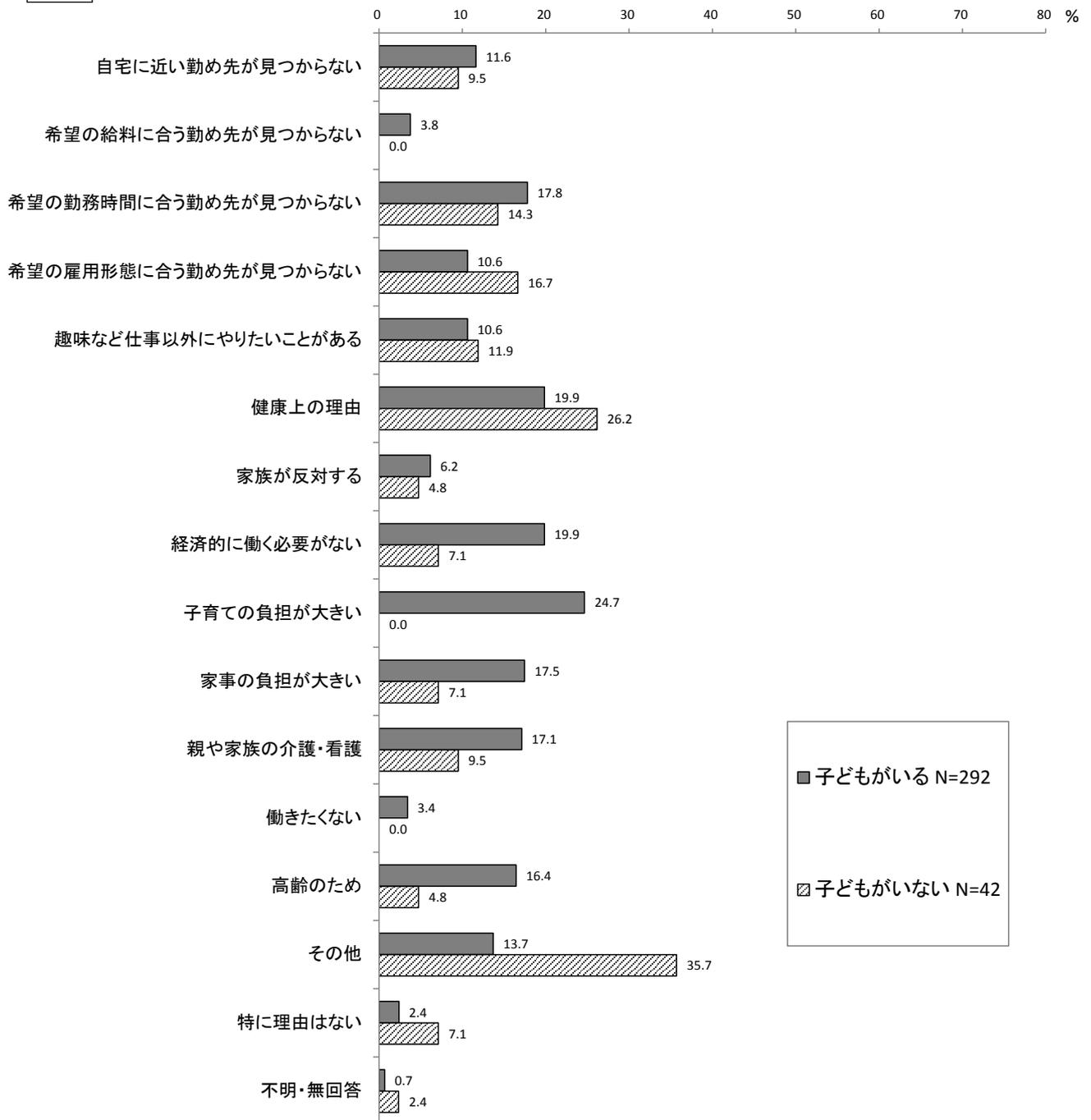
女性



【子どもの有無別】

子どもがいる女性では「子育ての負担が大きい」が最も多く、次いで同率で「健康上の理由」及び「経済的に働く必要がない」となっている。一方、子どもがいない女性では「健康上の理由」が最も多く、次いで「希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない」、「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」となっている。子どもの有無により働いていない理由が異なる。

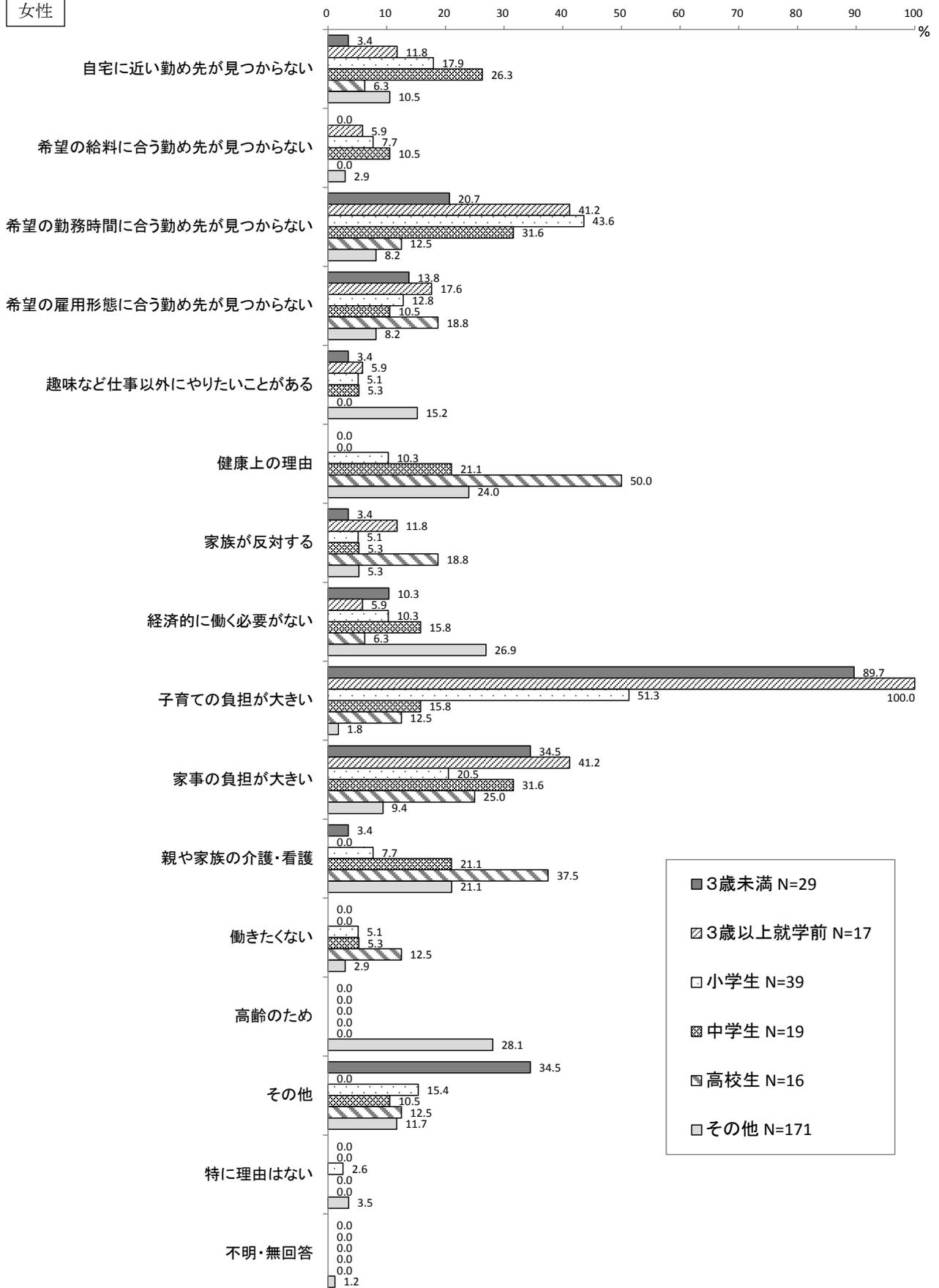
女性



【末子年齢別】

末子年齢別に比較すると、就学前の末子がいる女性では、「子育ての負担が大きい」が最も多く、突出している。さらに、末子年齢が小学生以上について最も多い理由をみると、小学生では「子育ての負担が大きい」、中学生では同率で「家事の負担が大きい」及び「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」、高校生では「健康上の理由」となっている。

女性



(10) 女性が仕事をやめた理由

問 14-1 仕事をやめた理由は何ですか。次の1～12の中からあてはまる理由について、それぞれお答えください

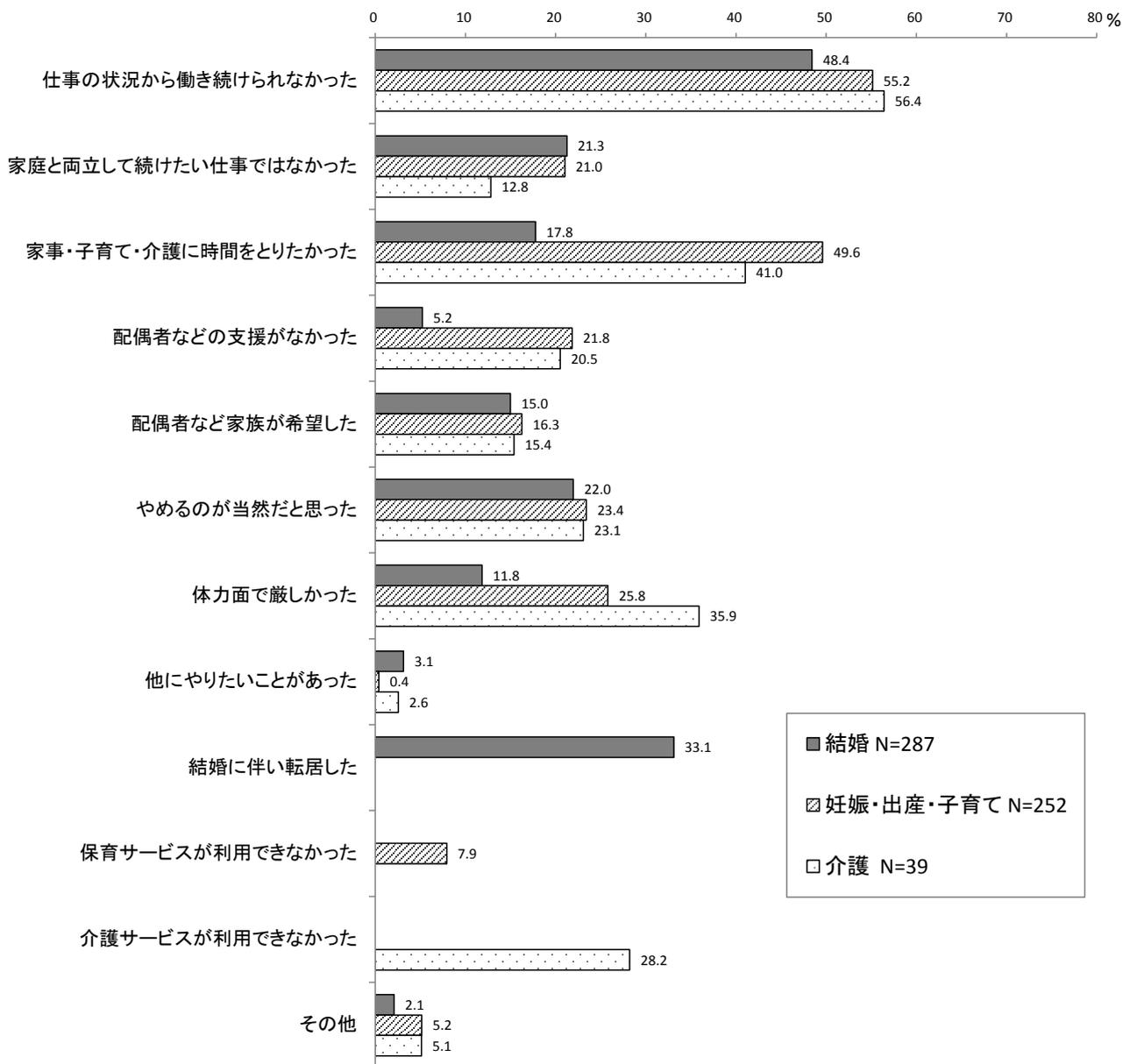
(①結婚、②妊娠・出産・子育て、③介護を機に仕事をやめた経験のある女性のみ)

(〇はそれぞれいくつでも)

【退職事由別】

結婚、出産等(妊娠・出産・子育て)、介護を機に仕事をやめた経験のある女性が仕事をやめた理由は、いずれの場合も「仕事の状況から働き続けられなかった」が最も多い。次いで、結婚では「結婚に伴い転居した」、「やめるのが当然だと思った」、出産等と介護では「家事・子育て・介護に時間をとれたかった」、「体力面で厳しかった」となっている。

女性



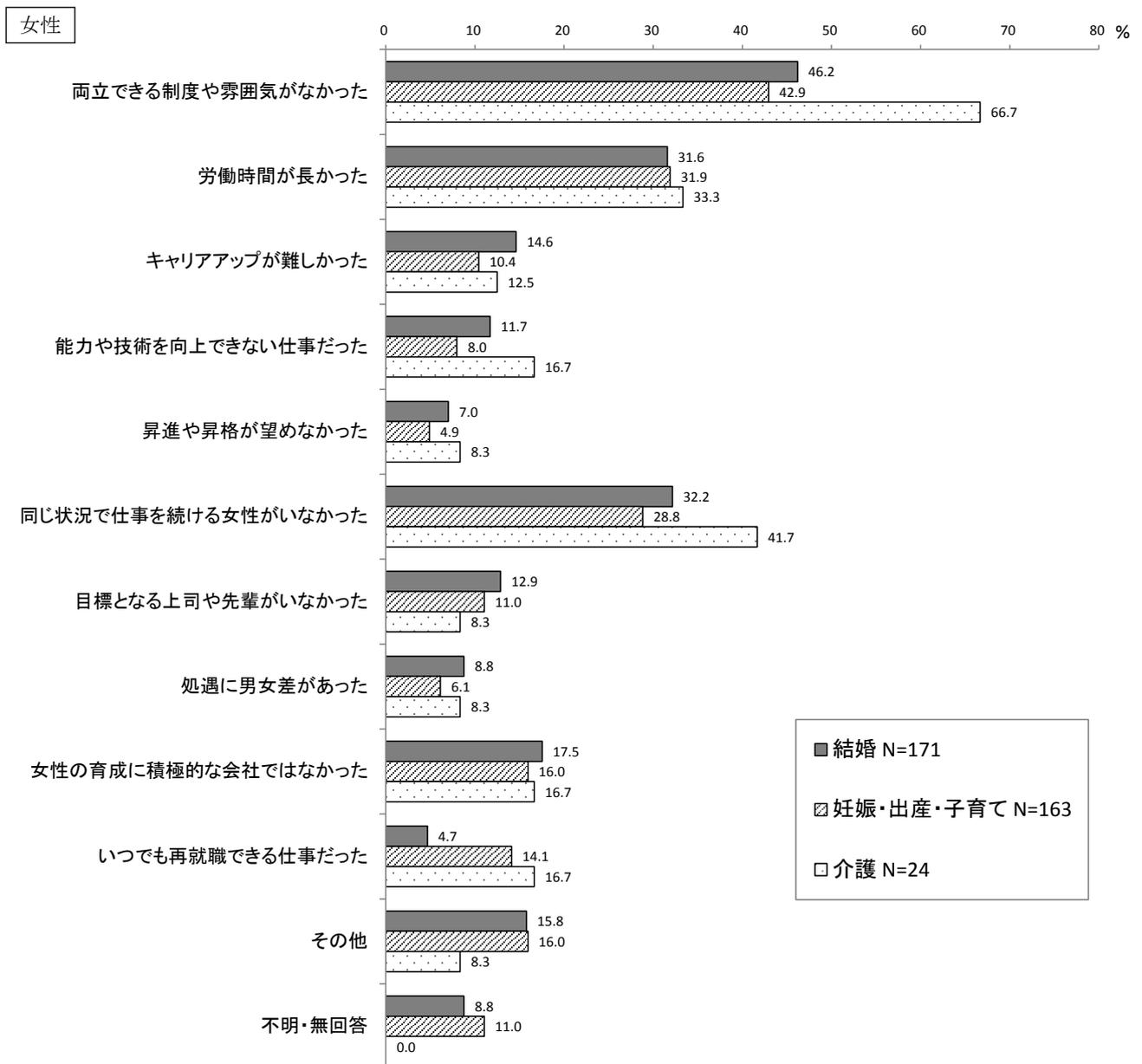
※①結婚を機に仕事をやめた経験のある女性(33.8%)が回答
 ②出産等を機に仕事をやめた経験のある女性(29.7%)が回答
 ③介護を機に仕事をやめた経験のある女性(4.6%)が回答

(11) 女性が「仕事上の理由」でやめた詳細な理由

問 14-2 仕事をやめた仕事上の理由は何ですか。次の1～11の中からあてはまる理由について、それぞれお答えください
 (問 14-1 で「仕事の状況から働き続けられなかった」「家庭と両立して続けたい仕事ではなかった」と回答した女性のみ)
 (〇はそれぞれいくつでも)

【退職事由別】

前問で「仕事の状況から働き続けられなかった」「家庭と両立して続けたい仕事ではなかった」という仕事上の理由を回答した方の詳細な理由は、結婚、出産等、介護ともに、「両立できる制度や雰囲気かなかった」が最も多く、次いで「労働時間が長かった」と「同じ状況で仕事を続ける女性がいなかった」となっている。



(12) 女性が働きたい仕事

問 15 今後あなたが働くとしたら、どのような仕事がしたいですか
(女性のみ)

(○はそれぞれ1つずつ)

《今後働くとしたら・働いている方》

有職女性の35.3%が「今とは違う仕事をしたい」と転職を希望している。

【年代別】

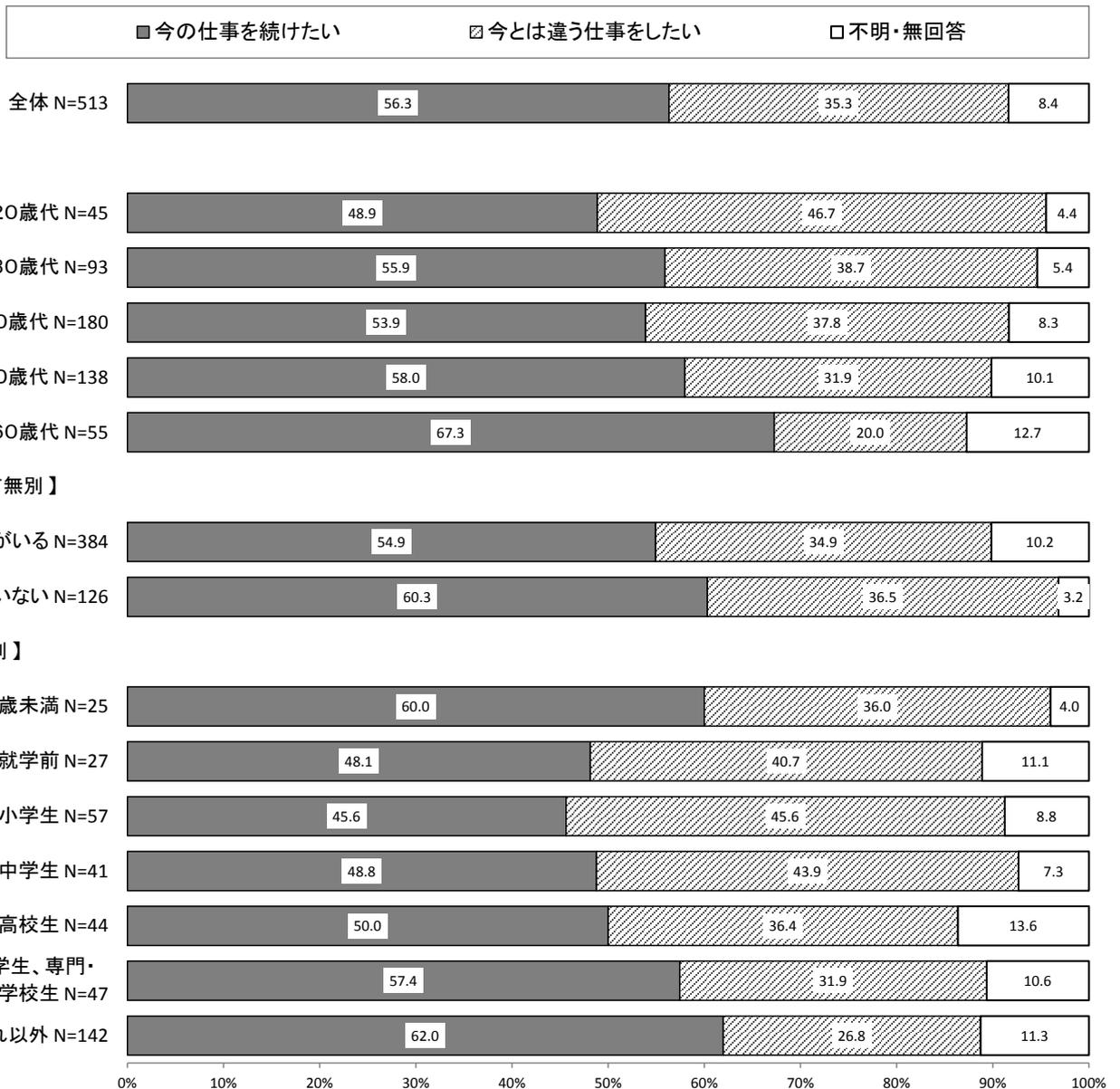
転職希望は20歳代で46.7%と最も多いが、年代が上がるにつれ、「今の仕事を続けたい」人が増える。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもの有無による差はほとんど無い。

末子年齢別に比較すると、小学生、中学生の末子がいる女性の転職希望が多い。

女性



《今後働くとしたら・無職の方》

無職女性の50.1%が「仕事に就きたい」と就職を希望している。

【年代別】

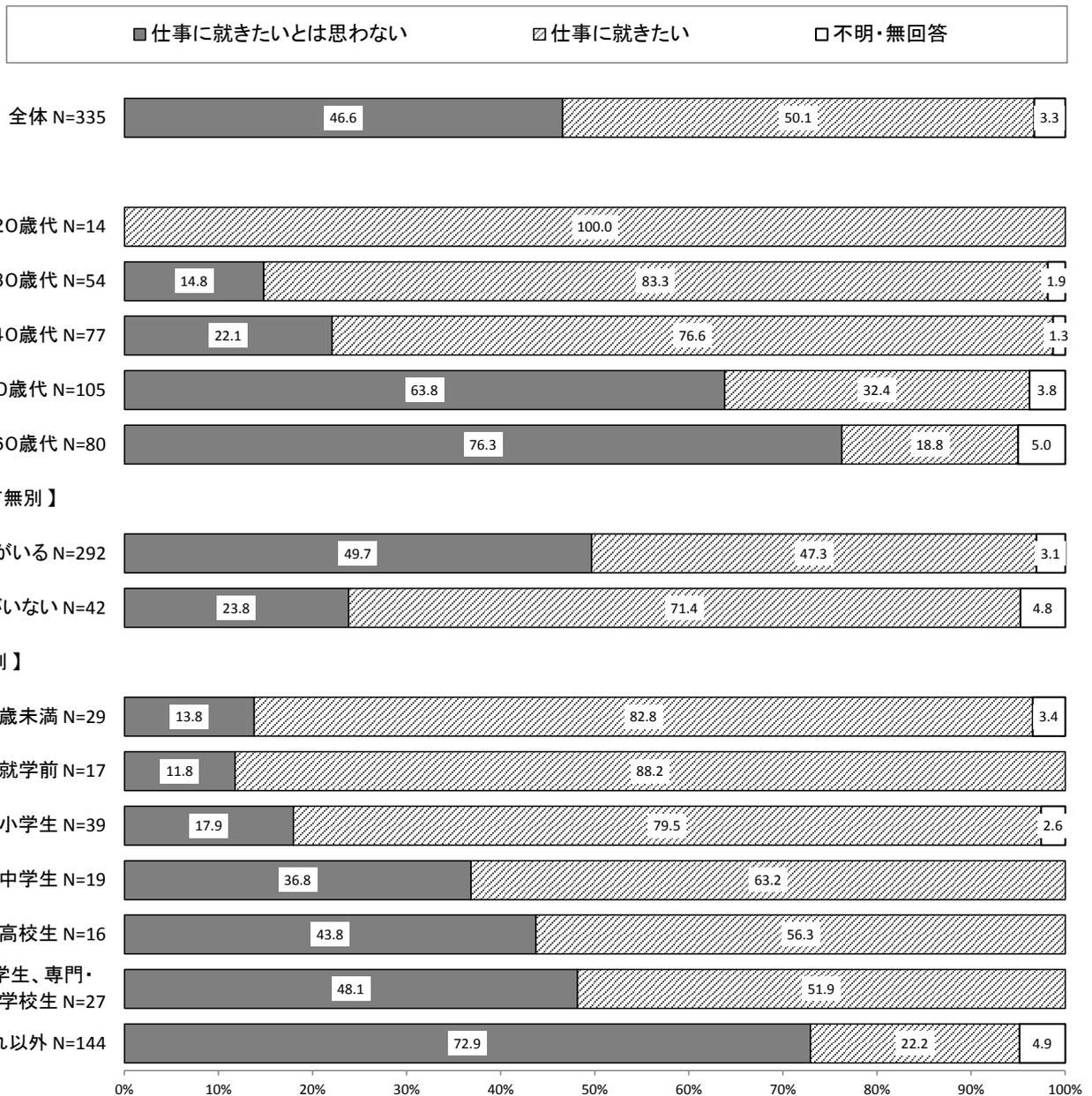
就職希望は20歳代で100%、30歳代、40歳代で約8割と多い。50歳代以上では、「仕事に就きたいとは思わない」人が増える。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもがいない女性の就職希望は71.4%と多い。

末子年齢別に比較すると、末子年齢が低いほど就職希望が多い傾向がある。3歳以上就学前の末子がいる女性の就職希望は88.2%と最も多い。

女性



《働きたい形態》

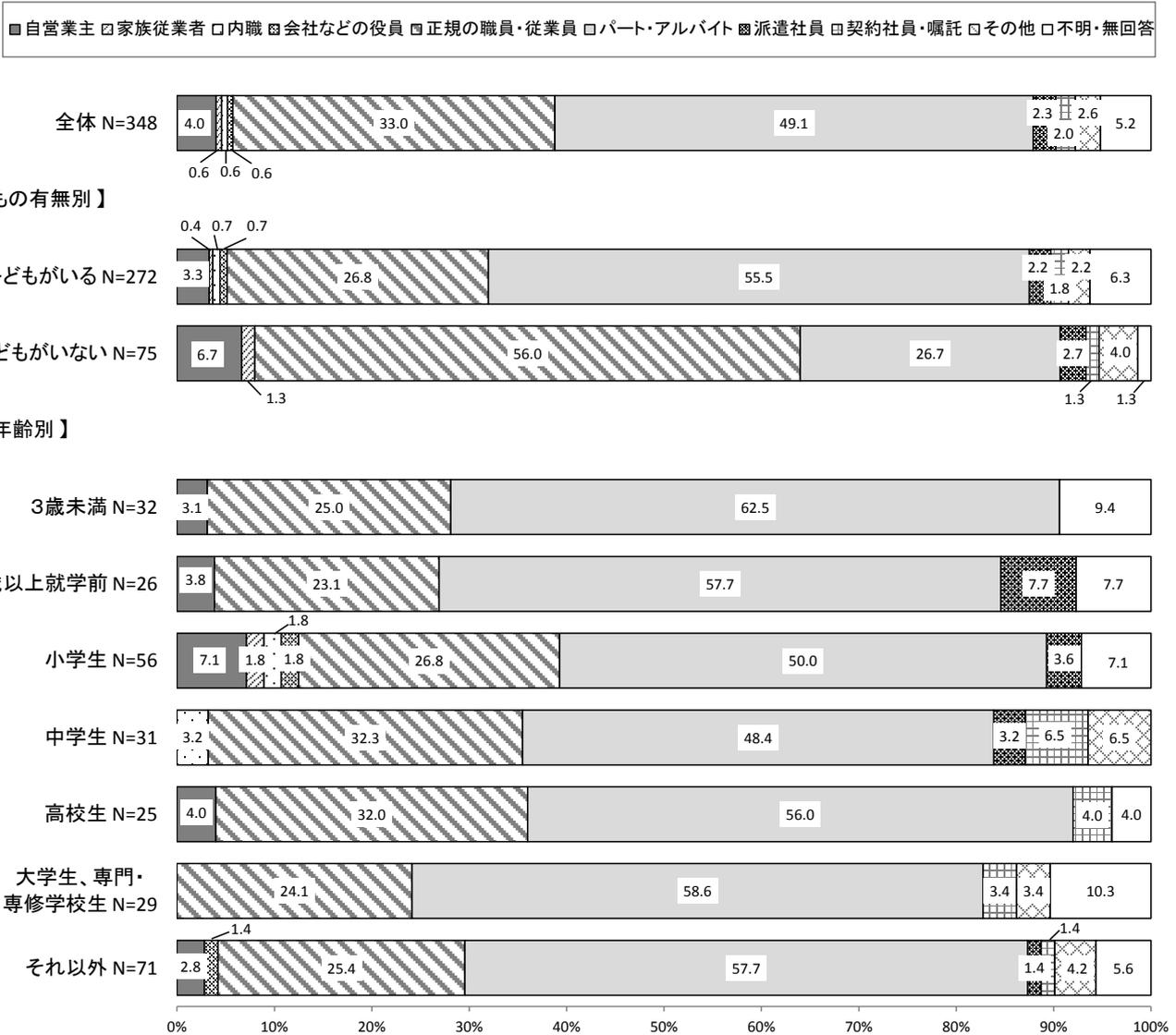
有職女性が転職し、無職女性が就職して働きたい形態は、「パート・アルバイト」が49.1%と最も多く、次いで「正規の職員・従業員」が33.0%となっている。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもがいない女性が働きたい形態は「正規の職員・従業員」が56.0%と最も多いが、子どもがいる女性では「パート・アルバイト」が55.5%と最も多い。

末子年齢別に比較すると、中学生、高校生の末子がいる女性では、「正規の職員・従業員」の希望が多い。

女性



《働きたい職種》

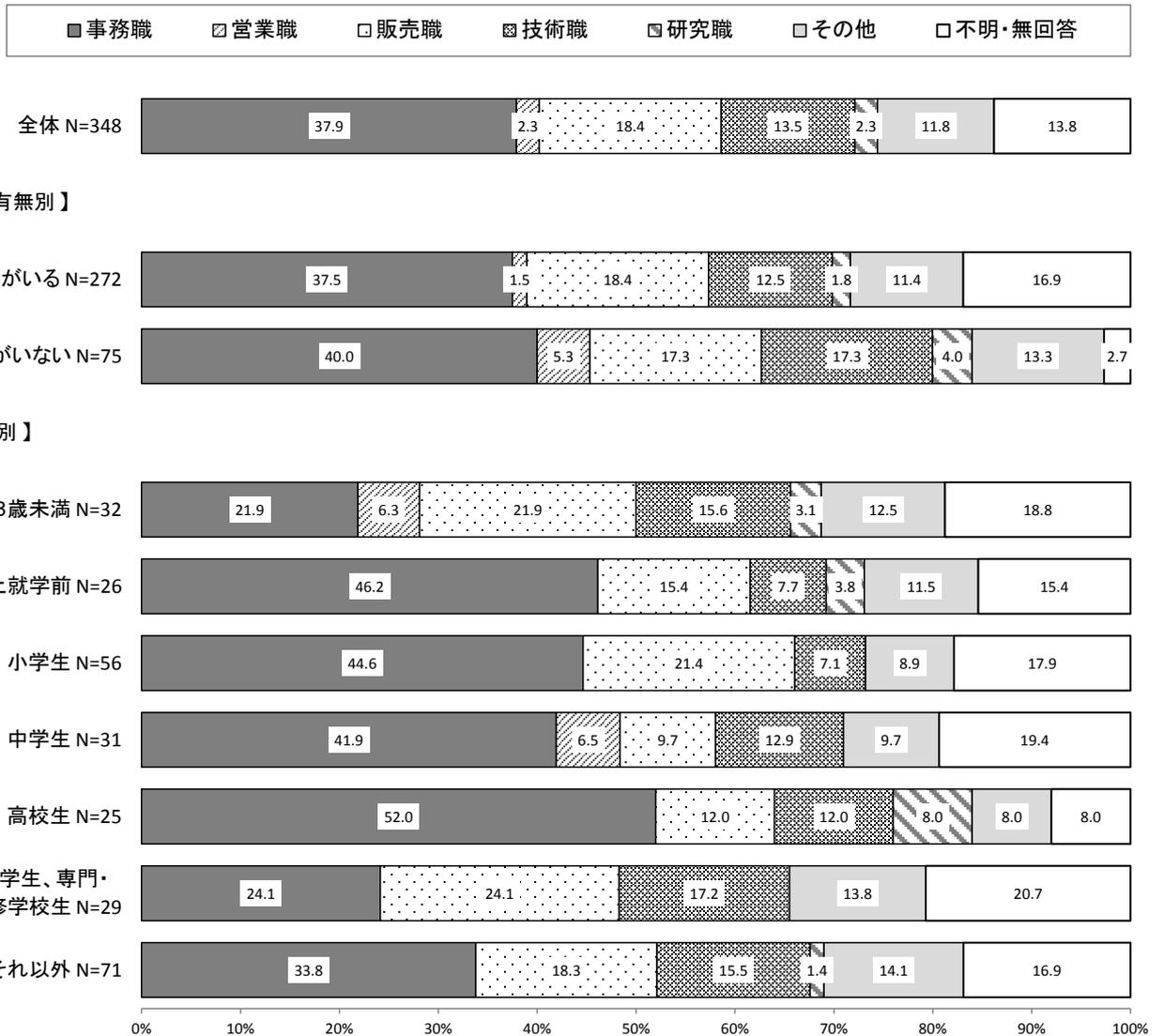
女性が働きたい職種は「事務職」が37.9%と最も多く、ついで「販売職」が18.4%、「技術職」が13.5%となっている。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもの有無にかかわらず女性が働きたい職種は「事務職」が最も多く約4割である。子どもがいない女性では子どもがいる女性に比べ「技術職」や「営業職」、「研究職」を希望する人が多い。

末子年齢別に比較すると、「事務職」の希望は3歳以上から高校生までの末子がいる女性で多く、「3歳未満」と「大学生、専門・専修学校生」で少ない。

女性



《働きたい業種》

女性が働きたい業種は「医療／福祉」が20.4%と最も多く、次いで同率で「飲食／宿泊業」及び「教育／学習支援」が10.9%となっている。

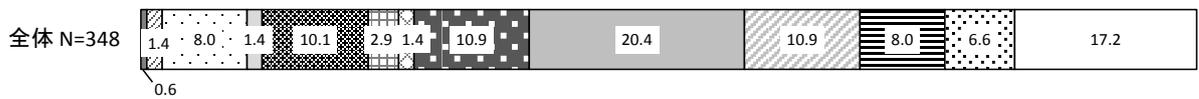
【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもの有無にかかわらず女性が働きたい業種は「医療／福祉」が最も多い。次いで、子どもがいない女性では同率で「製造業」及び「卸売／小売業」、子どもがいる女性では「教育／学習支援」、「飲食／宿泊業」となっており、子どもの有無により希望が異なる。

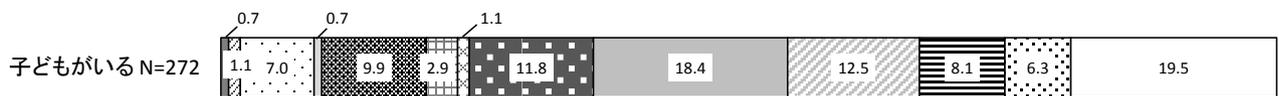
末子年齢別に比較すると、20%を超えて特に希望が多いのは、3歳未満の末子がいる女性の「教育／学習支援」、3歳以上就学前と高校生の子がいた女性の「医療／福祉」である。

女性

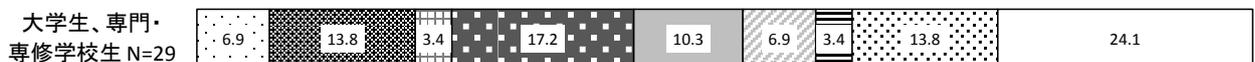
■農林漁業 □建設業 □製造業 □情報通信業 ■卸売／小売業 □金融／保険 □不動産業 □飲食／宿泊業 □医療／福祉 □教育／学習支援 □公務 □その他 □不明・無回答



【子どもの有無別】



【末子年齢別】



《働きたい地域》

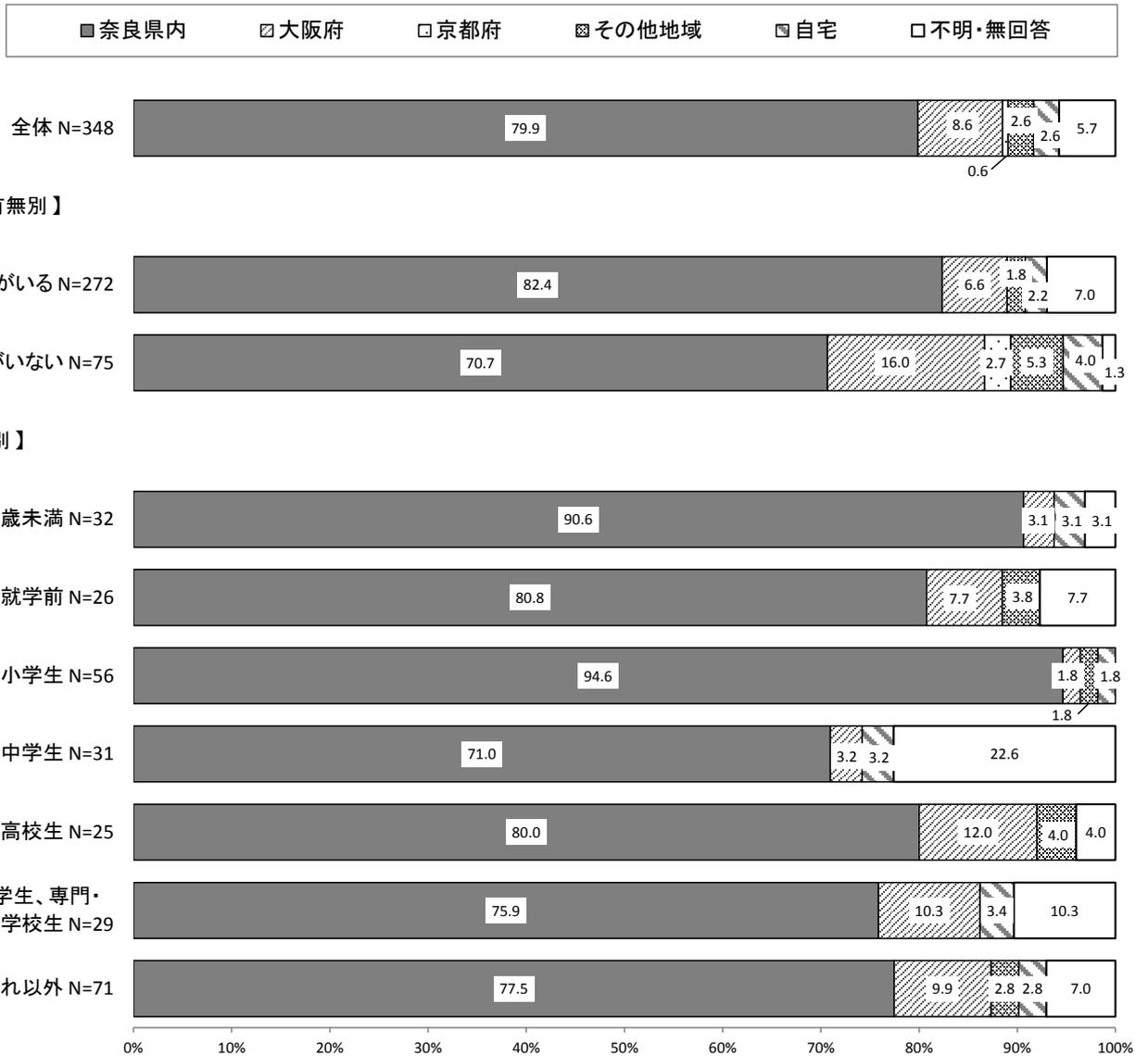
女性が働きたい地域は「奈良県内」が79.9%と最も多く、次いで「大阪府」が8.6%となっている。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもがいる女性が働きたい地域は「奈良県内」が82.4%と多く、子どもがいない女性に比べて11.7ポイント多い。次いで多い「大阪府」は子どもがいない女性では16.0%と子どもがいる女性に比べて9.4ポイント多い。

末子年齢別に比較すると、高校生の末子がいる女性では「大阪府」の希望が12.0%と多い。

女性



《希望通勤時間》

女性が希望する通勤時間は、「30分未満」が62.6%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」が24.4%、「1時間～1時間30分未満」が6.9%となっている。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもがいる女性が希望する通勤時間は「30分未満」が69.9%と最も多いが、子どもがいない女性では「30分～1時間未満」が42.7%と最も多い。1時間未満の希望を合計すると、子どもがいる女性では89.4%、子どもがいない女性では78.7%である。

高校生以下では末子年齢が低いほど、「30分未満」の希望が多く、3歳未満の末子がいる女性では87.5%と最も多い。

女性

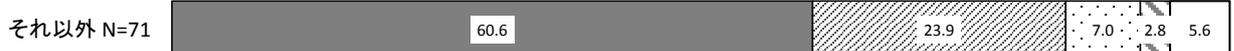
■ 30分未満 □ 30分～1時間未満 □ 1時間～1時間30分未満 ▨ 1時間30分～2時間未満 □ 特になし □ 不明・無回答



【子どもの有無別】



【末子年齢別】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《希望始業時刻》

女性が希望する始業時刻は「午前9時」が49.4%と最も多く、次いで「午前9時30分」が15.5%、「午前10時」が14.7%となっている。

【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもの有無にかかわらず女性が希望する始業時刻は「午前9時」が最も多い。次いで、子どもがいる女性では「午前9時30分」、子どもがいない女性は「午前8時30分」となっており、子どもの有無により異なっている。

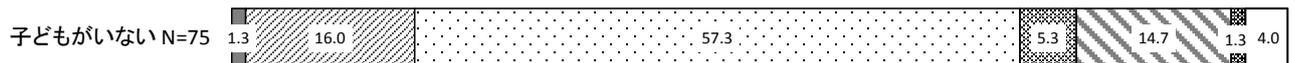
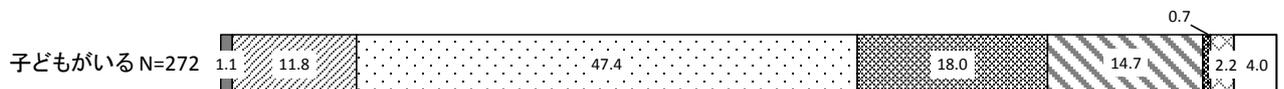
末子年齢が3歳未満と小学生で「午前10時」と遅い時刻の希望が多い。

女性

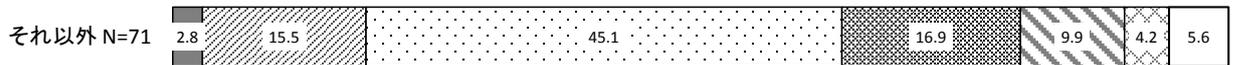
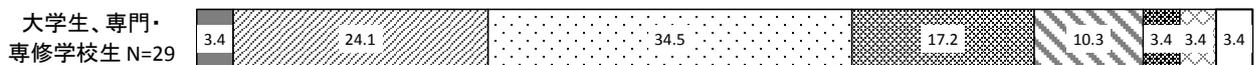
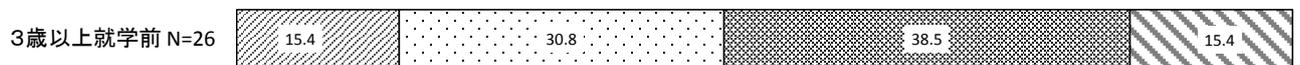
■ 午前8時以前 □ 午前8時30分 □ 午前9時 □ 午前9時30分 □ 午前10時 □ 午前10時30分 ■ 午前11時 □ 午前11時30分 □ 正午以降 □ 不明・無回答



【子どもの有無別】



【末子年齢別】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《希望終業時刻》

女性が希望する終業時刻は「午後5時」が26.7%と最も多く、次いで「午後4時」が16.4%、「午後3時」が12.9%となっている。

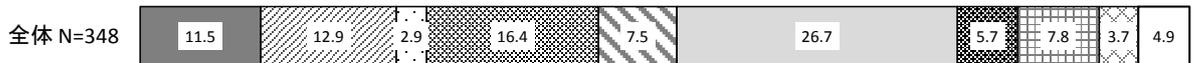
【子どもの有無別・末子年齢別】

子どもの有無にかかわらず女性が希望する終業時刻は「午後5時」が最も多い。次いで、子どもがいる女性では「午後4時」、子どもがいない女性では「午後6時」となっており、子どもの有無により異なっている。

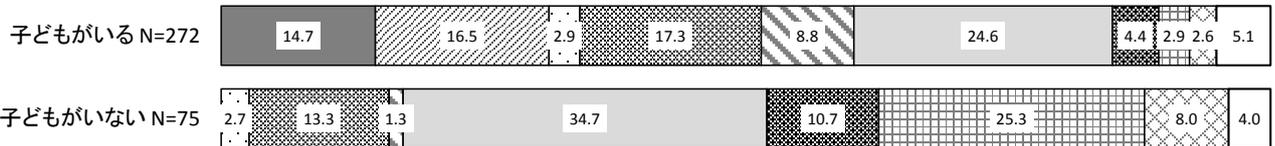
末子年齢が小学生以下の場合、午後3時以前の早い時刻の希望が多い。

女性

■ 午後2時30分以前 □ 午後3時 □ 午後3時30分 ▨ 午後4時 ▩ 午後4時30分 □ 午後5時 ■ 午後5時30分 ▨ 午後6時 □ 午後6時30分以降 □ 不明・無回答



【子どもの有無別】



【末子年齢別】

